

平成17年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告  
《ウェルカム北海道エリア》

2-1

- 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告(審査委員会)

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート: ウエルカム北海道エリア)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)					
★: ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み					
	ルート(エリア)運営計画基本方針	ルート(エリア)運営計画活動内容	活動No	平成17年度 地域活動(総括)	
景観形成	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討		北海道の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後も継続した取り組みしていくための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。	
		エリアマップの作成	S W - 1		
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	支笏湖の湖面利用に関する規制			
		水辺の眺望ポイントの整理			
		河川や湖面、沿道の清掃	S W - 2		
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備			
		ウエルカムゲートの整備促進	S W - 3		
		花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	S W - 4		
	エリアの景観ルールづくり				
	看板や広告物の規制の検討				
観光振興	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	ファームイン・体験農園との連携の検討		お勧め景観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシニック活動への参加およびかけを行ななど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。	
		食をテーマにした特産品の開発			
		エリア企業との連携による魅力づくり	S W - 5		
	エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	S W - 6		
		観光コミュニティバスの実験運行	S W - 7		
	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	ホームページの作成			
		エリアの周遊の検討	S W - 5.7		
		★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S W - 8		
	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)				
	S W - 9				
地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成		各地域ごとに、歴史、自然など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、次年度スタートするトレジャー・ハントと連動するなど、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる子どもへの教育を視野にいたした活動を進める。	
		旧ユースホステルの保全・活用	S W - 10		
		タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	S W - 11		
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討			
		手づくり品・オリジナルポストカードの制作	S W - 12		
		コミュニティビジネス研究			
	交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進	S W - 13		
			S W - 14		
		各研修会などの開催			
		タウンミーティングの開催	S W - 15		

## 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア 代表 泉谷清	報告年月:2006/3/31
-------------------------------	------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	エリアインフォメーションシステムの検討		集中活動月間情報拠点の設置	えにわシニックプロジェクト/支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	集中活動月間中	・今年度は、集中活動月間において、えにわ市民情報サロン、支笏湖ユースホステルを各情報拠点とし情報紙の配布等を実施。次年度以降、エリアとしてのインフォメーションシステムについて検討を行う。	北海道の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後も継続した取り組みとしていたための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
	エリアマップの作成	S W - 1	支笏洞爺ニセコを巡る見て・食べて・遊ぶドライブマップ	支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議	9月集中活動月間にあわせて発行	・9月集中活動月間の地域活動と連動し、支笏洞爺ニセコルート内のおすすめ景観ポイント・イベント・ドライブコースを掲載したドライブマップを発行。情報拠点や道の駅等で配布。	
景観形成	支笏湖の湖面利用に関する規制		支笏湖の湖面利用に関する規制の検討	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17年度	・平成18年度より、支笏湖内における動力船の運転が全面禁止となる。	北海道の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後も継続した取り組みとしていたための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
	水辺の眺望ポイントの整理		各集中活動月間情報紙への情報提供等	えにわシニックプロジェクト/支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17年度	・集中活動情報紙掲載のお勧め景観として、白扇の滝、水明渓谷、支笏湖南側からみた景色等、水辺の眺望ポイントについて情報を提供。秋には、ルートを巡るドライブマップで、茂漁川やオコタンベ湖を紹介した他、エリア内のバスツアーにおいても、水辺のお勧め景観を立ち寄りポイントした。次年度以降、これらの情報の収集・整理を進めていく。	
	河川や湖面、沿道の清掃	S W - 2	453(ヨサン)530(ヨミセロ)キャンペーンin支笏湖[春・秋]	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	5月30日(月) 9月30日(金)	・国道453号において春・秋2回の清掃活動を実施。昨年より継続し、秋には小学校と活動日をあわせるなど、参加者の額ぶれも定着しつつあり、キャンペーンのもと地域で取り組む清掃活動となってきた。また、ボランティア・サポート・プログラムとしても登録。今後は、参加者の安全確保、エリア・ルートでの連携をはかったPR等が課題。	
花とみどりによる四季の感じられる景観形成	みどりのマイルストーン(道標)の整備		* 植栽活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。	えにわシニックプロジェクト	平成17年度	・植栽活動が主な活動となり、道標についての取り組みは行われなかった。今後、中長期的な取り組みとして、道標の考え方、ふさわしい場所、仕様等の検討を行う。	・道道恵庭岳公園線のインターチェンジ付近から市街地に向か、約900メートルの植栽を実施。ウェルカムフラワーロードとした。活動団体、恵庭市、土木現業所協働の取り組みであり今後も継続・拡大方向で進める。
	ウェルカムゲートの整備促進	S W - 3	恵庭公園線ウェルカム花ロード	えにわシニックプロジェクト	6月4日(土)	・道道恵庭岳公園線のインターチェンジ付近から市街地に向か、約900メートルの植栽を実施。ウェルカムフラワーロードとした。活動団体、恵庭市、土木現業所協働の取り組みであり今後も継続・拡大方向で進める。	
	花とみどり(紅葉する樹木)の植栽	S W - 4	千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36ver.3	社団法人 千歳青年会議所	9月21日(土)	・新千歳空港へのアクセス道路である国道36号を、北海道の玄関口としてふさわしいおもてなしをしようと沿道植栽を実施。施行期間より、今年で3回目の取り組みとなり、市内小学校9校の他、千歳市、千歳フラワーマスターの会、花俱楽部など約600名が参加。多年草である芝桜の植栽、ベルギーマムのプランターを設置。子どもたちへの、シニックバイウェイの周知にも繋がった。 ・来年以降、取り組みを継続していくため、市民・行政・企業・学校・道路管理者などの連携や維持管理の仕組みの検討が必要。	
エリアの景観ルールづくり			札幌開発建設部主催「住民参加の現道景観診断」に参加	えにわシニックプロジェクト/支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	10月14日(金)	・札幌開発建設部主催の国道36号、恵庭バイパス～千歳市街地景観診断に参加。景観診断実施後、診断内容や望ましい景観の方について参加者と意見交換会を実施。	
看板や広告物の規制の検討							

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)			報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 泉谷清			報告年月:2006/3/31	
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	ファームイン・体験農園との連携の検討		ファームイン・体験農園を行っている方へのシーニック活動PR及び情報交換	えにわシニックプロジェクト	平成17年度	・エリア内でファームイン、及び体験農場等を営んでいる方へのシーニック活動PR、情報交換等を実施。次年度以降も、交流を続け、試行的に活動に参加いただくなど、連携に向けた取り組みを行う。	お勧め景観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシニック活動への参加およびかけを行ななど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。
	食をテーマにした特産品の開発		食をテーマとしたシンポジウムの開催	えにわシニックプロジェクト	9月23日(金)	・今年度は、食をテーマとした、シンポジウムを開催。次年度以降、引き続き、取り組みを進める。	
	エリア企業との連携による魅力づくり	S W - 5	えにわいいとこどりツアー(花ツアー・紅葉ツアー)	えにわシニックプロジェクト	7月9日(土) 10月8日(土)	・恵庭市内の旅行代理店と連携し、恵庭の魅力を巡る周遊ツアーを実施。 ・紅葉ツアーでは、試験的に恵庭観光協会と共に開催。回を重ねるごとに参加申込み者が増加、リピータもみられる。 ・バスの発着場所、料金設定の見直し、など収益性も含め、ニーズに併せた内容を検討する必要がある。	
エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	S W - 6	サンセットコンサート・クリスマスイベントの開催	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	7月9日(土) 12月21日～23日(水～金)	・支笏湖において、エリアの魅力を伝える取り組みとして、夏に「サンセットコンサート」、冬に「クリスマスイベント」を実施。 ・サンセットコンサートは、天候に左右されるという難点はあるが、美しい景観と音楽は相性が良く、今後も継続予定。クリスマスイベントについては、主に地域住民向けに実施。 ・今後は、地域住民で楽しむことも含め、集客に向けた効果的な広報の実施が課題	お勧め景観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシニック活動への参加およびかけを行ななど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。
観光振興	観光コミュニティバスの実験運行	S W - 7	支笏湖シニックシャトルバス	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	9月 5.6.7.14.15.16.17. 、19.20.21.22 日 (1日2便)	・支笏湖周辺のお勧めポイントを巡るシャトルバスを運行。活動団体や地元住民がガイドとなり、地元ならではの地域情報を提供とともに、朝昼の2便を運行し、山登りや湯巡りなど各地への滞在を可能とした。 ・全般的に、乗客の満足度は高かったが、地域での消費活動は増加せず、今後は、地域にお金が落ちる仕組みを検討するとともに、将来的な足の確保も含め、地域ガイドの確保、バス運行費用の確保が課題となる。	
	ホームページの作成		* 支援センターHPへの情報提供及び、コミュニケーションメールへの投稿にとどまり、ホームページの更新は滞った。	えにわシニックプロジェクト	平成17年度	・今年度は、更新が滞ったため、次年度以降、ブログ形式等、更新の負担が少なく、新情報が掲載されるよう、仕組みをふくめ、えにわシニックプロジェクトの既存ホームページをリニューアルする。エリアの情報発信・共有も含め検討する。	
	エリアの周遊の検討	S W - 7	エリア内で2つの周遊バスツアーを実施	えにわシニックプロジェクト 支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	6月集中活動月間 9月集中活動月間	・集中活動月間において恵庭、支笏湖それぞれ周遊バスを運行。資金や地元ガイドの確保・育成など、共通の課題があり、今後、情報交換を行い、活動のステップアップを図りたい。(合同で、ガイド育成ツアなど)・シニックバイウェイルートである恵庭岳公園線は、自動車以外の交通手段がなく、今後、恵庭岳公園線から支笏湖を巡るバスツアーなどを連携して試みることも考えられる。	
★ルートを対象としたイベントの企画・実施 (キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)		S W - 8	支笏湖 雪あかりの散歩道 キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	1月28日～2月 19日(土・日・祝 祭日に開催)	・「キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～」としてルート連携活動が実現。活動団体の他、地域の方々も協力も得られた。今後の継続・エリアへの展開が課題となる。	お勧め景観ポイント等、各地でエリアの魅力を巡る「周遊」をキーワードとした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、「農業」「食」との連携に向けた情報交換やシニック活動への参加およびかけを行ななど地域との交流を深める。また、今年度実現したルート連携活動について、好評を得たことから、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。
★ルートを対象としたツアーや企画・実施 (外国人観光客モニターツアー)		S W - 9	外国人観光客モニターツアー	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	2月15日(水)	支笏湖において、洞爺・ニセコエリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに伴う、ルート・メニューを提案・試行を行う。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)			報告者:ウエルカム北海道エリア 代表 泉谷清			報告年月:2006/3/31	
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域資源の発掘と保全活用	支笏湖タウンマップの作成		支笏湖クリーンマップの多言語化制作準備	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	平成17年度	・近年の外国人観光客への対応として、支笏湖クリーンマップの多言語化を進めている。現在、資金を確保した段階であり、今後も引き続き進めていく。	各地域ごとに、歴史、自然など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、次年度スタートするトレジャーハントと連動するなど、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる子どもへの教育を視野にいたる活動を進める。
	旧ユースホステルの保全・活用	SW-10	シニックバイウェイ情報拠点 赤い三角屋根～支笏湖ユースホステル旧館	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	9月中(土・日)	・温泉街より離れていることもあり、タブロイドやドライブマップ等での広報はおこなったが、あまり集客がなかった。 ・情報拠点においては、立ち寄り安い場所での展開等が課題となる。	
	タウンウォッチングなどによる地域資源の発掘	SW-11	「まちの魅力をさぐる！！シニックシンポジウムin恵庭」第1部 歴史を探る	えにわシニックプロジェクト	9月23日(金)	・シンポジウムの第1部として、歴史を探ると題し、森林鉄道6号橋跡近辺の歴史遺産の散策を実施。次年度以降、トレジャーハント等と連携しながら、こつこつと地域資源を発掘する取り組みを継続していきたい。	
地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	地域ブランド化の検討		「恵の花マップ」の作成及び、「花ツアー」の実施	えにわシニックプロジェクト	6月集中活動月間	・「花」のまち恵庭をPRする「恵み野花マップ」の作成及び、旬の時期に「花ツアー」を試行する等、「花」をテーマとした地域ブランド化へ向けた取り組みを実施。今後も引き続き取り組みを進める。	各地域ごとに、歴史、自然など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、次年度スタートするトレジャーハントと連動するなど、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる子どもへの教育を視野にいたる活動を進める。
	手づくり品・オリジナルポストカードの制作	SW-12	赤い三角屋根:てづくりしょっぁNeo(ネオ)	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	7月～10月(月・金・土・日)	・支笏湖温泉街より、離れていることもあり、タブロイドや、ドライブマップ等での広報はおこなったが、あまり集客がなかった。販売場所を含め、ニーズを把握した展開が必要。	
	コミュニティビジネス研究		バスツアー及び、周遊バスの試行(恵庭・支笏湖)	えにわシニックプロジェクト、支笏湖まちづくり機構NEOステージ	9月集中活動月間	・今年度は、各地域でバスツアー及び、周遊バスを試行。恵庭においては「花の一番良い季節」。支笏湖においては「地域の足の確保」という面も含めアンケート調査等により、今後のコミュニティビジネスとしての可能性を検討。地元ガイド及び資金の確保等の課題が明確となった。次年度以降、バスツアーに加え、食や手作り品等の研究も進めていきたい。	
交流と連携による地域づくりの推進	子ども・住民向け文化事業の推進	SW-13	スノーフェスタ2006 スキー場であそぼう	えにわシニックプロジェクト	3月5日(土)	・地域の行事を活性化しようと、第34回に向かえる恵庭市民スキー大会にあわせ、教育委員会、スキー連盟をはじめとする地域団体と連携し、親子で楽しめる冬のイベントを企画。恵庭のすばらしい冬の景色とかんじきを体験する「かんじき探検隊」など、冬と雪を楽しむイベントを実施。軽食コーナーを設け、次年度のスノーフェスタ事業費への協力を呼びかけた。	各地域ごとに、歴史、自然など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、次年度スタートするトレジャーハントと連動するなど、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる子どもへの教育を視野にいたる活動を進める。
		SW-14	恵庭・花とくらし展	えにわシニックプロジェクト	6月25日(土)・26日(日)	・花を暮らしの中に普及させることを目的に恵庭市で毎年開催している「恵庭・花とくらし展」の協賛団体となり、シニックコンサートを開催。また、シニックバイウェイ北海道のビデオ放映やパネル展、集中活動月間情報誌紙の配布などPR活動を実施。今回は、パネル展示、にとどめたが、来年度は、さらに取り組みを広げたい。	
	各研修会などの開催		地域オリジナル商品開発に向けた観光地視察	支笏湖まちづくり機構 NEOステージ	3月21日	・地域のオリジナル商品開発に向け、作り手である地元の主婦と一緒に、観光地のお土産売り場等の視察を実施。 * 次年度以降、今年度の活動全体を通して挙げられた課題へ対応に向け必要な研修会等を実施。	
	タウンミーティングの開催	SW-15	「まちの魅力をさぐる！！シニックシンポジウムin恵庭」	えにわシニックプロジェクト	9月23日(金)	・まちの魅力を再認識し、住民が誇りを持てるよう、改めて恵庭市を考えるイベントを実施。まちの環境や歴史を探るとともに、恵庭で活躍されている方々を迎え、食と環境についてシンポジウムを開催。 ・体験プログラムを組み混む、ラジオ放送をイメージしたシンポジウム等、従来の形にとらわれない新しい試みが出来た。求めている方へ有効な情報を発信するよう、ニーズに併せた情報発信を行っていく必要がある。	

## 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

- ・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2006/3/31
-------------------------------	-------------	----------------

基本方針	平成17年度の活動内容	実施機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成	来訪者をもてなすウェルカムルートの創出	・恵庭バイパスPR看板の老朽化に伴い、PR看板をウエルカム北海道エリアのPR看板へ変更。 ・シーニックルート上の景観向上事業として防護柵などの形状・色彩の改善、統一を実施。	・札幌開発建設部千歳道路事務所	平成17年度	
		・札幌開発建設部	平成17年度	【国道276号】 ・冬笛橋、美笛橋の形状・色彩の改善、統一等 【国道453号】 ・標識移設N=12基（丸山交差点） ・道路情報板：形状・色彩の改善、統一等	
	北海道らしい清らかな水を印象づけるみちづくりの促進	・道道恵庭岳公園線インターチェンジ付近において、活動団体、恵庭市、北海道が協働し(ふれあいのまちクリーン事業)を実施。 ・453(ヨゴサ)530(ヨセロ)キャンペーンin支笏湖において、清掃活動中電光掲示板にて活動のPRを実施。 ・秋は、ボランティア・サポート・プログラムで連携。	・えにわシーニックプロジェクト ・恵庭市 ・北海道札幌土木現業所千歳出張所	6月4日（土）	
		・自然公園財団支笏湖支部 ・千歳市 ・札幌開発建設部	5月30日（月） 9月30日（金）		
		・札幌開発建設部	平成17年度		
	花とみどりによる四季の感じられる景観形成	・千歳市 ・札幌開発建設部	9月21日（土）		
観光振興	エリアの景観ルールづくり	・国道36号線において、千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36ver.3を協働事業として実施。事前準備の他、当日の植栽作業、安全確保等を行つた。	・恵庭市、千歳市地域住民 ・恵庭市役所 ・千歳市役所 ・札幌開発建設部	10月14日（金）	
	看板や広告物の規制の検討				
	周辺の田園地帯や水資源を活用した魅力づくり	・道と川の駅「花ロード恵庭」のオープンに向け、各種検討を重ねた。	・恵庭市		
エリアの魅力を伝えるイベントなどの開催	エリアの周遊性を高めるしくみと情報発信	・エリア内で活動団体が実施するイベントについて記者発表など、活動のPRを行った。また、シーニックバイウェイ支笏・洞爺・ニセコルートを繋ぐイベント「キャンドルナイト～灯かりで繋ぐ雪の道～」を後援。	・札幌開発建設部	各集中活動月間 1月28日～2月19日 (土・日・祝祭日に開催)	
		・集中活動月間において、支援センター発行の情報紙を管内道の駅等に配布した他、ホームページ等を活用し、エリア内の活動等情報発信を行う。	・札幌開発建設部	各集中活動月間	

地域づくり	地域資源の発掘と保全活用	・支笏洞爺ニセコを巡る見て・食べて・遊ぶドライブマップ「地域再発見クイズラリー」として、景観・地域資源の保全活用に関する意識調査を実施。	・札幌開発建設部	9月集中活動月間		
	地域の資源を活かしたコミュニティビジネスの創出	・地域の資源を巡るバスツアー等、活動団体の取り組みについて記者発表等のPRを行う。	・札幌開発建設部	6月・9月・冬期集中活動月間		
	交流と連携による地域づくりの推進	「まちの魅力をさぐる！！シニックシンポジウムin恵庭」の開催を後援	恵庭市 札幌開発建設部	9月23日（金）		
		恵庭・花とくらし展において、シニックコンサート出演料を助成	恵庭市	6月25日（土）・26日（日）		

### 3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清	報告年月:2006/3/31
----------------------------	------------------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に 関わる事項	エリア運営 (事務局体制)	スケジュー ル調整な ど			6月集中活動月間 準備・調整・実施			9月集中活動月間 準備・調整・実施					冬期集中活動 準備・調整・実施		
	代表者会議 (全体)					● 7月1日 (全体)				○ 11月13日 (全道ミーティング 参加)				● 3月16日 (全体)	
	(個別)					↔ 7月28日/8月9日						↔ 1月19・20・30日	↔ 3月7・8・10日		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート	報告者:札幌開発建設部	報告年月:2006/3/20
------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に 関わる事項	行政連絡会議の実 施						行政連絡会議 準備 ヒアリング						行政連絡会議 ヒアリング	● 3月16日 行政連絡会議担 当者名簿配布	仮)ウェルカム北海道通 信として、行政向け ニュースレター(メール) を配信
	集中活動月間				↔ 6月集中活動月間			↔ 9月集中活動月間					↔ 2月集中活動月 間		

4. 審査委員会意見に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウエルカム北海道エリア)	報告者:ウエルカム北海道エリア代表 泉谷 清 / 札幌開発建設部	報告年月:2006/3/31
-------------------------------	----------------------------------	----------------

		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
シニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道道恵庭岳公園線、国道36号線において植栽活動(恵庭岳公園線植えるかむフラワーロード、千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36.ver3)を実施したほか、国道453号で春・秋の清掃活動(530・453(ゴミゼロ・ヨガサン)キャンペーン)を実施。</li> <li>・また、コミュニティビジネス創出へ向け、恵庭、支笏湖それぞれで、お勧め景観ポイントなど地域資源を巡るバスツアー及び、周遊バスの試験運行を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵庭岳公園線植えるかむフラワーロードを協働実施。(恵庭市、札幌土木現業所千歳出張所)</li> <li>・千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36.ver3を千歳市、札幌開発建設部が共催</li> <li>・国道453号において春・秋の清掃活動(454キャンペーン)を支援</li> </ul>	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃・植栽活動は3回目を向かえており、継続した事業実施に向け取り組みを進めている。今後、活動や成果に対するアドバイザーの確保が重要と考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体の取り組みに対する相談窓口として、関連する各行政機関担当者名簿を作成し、各活動団体に配布。今後も、担当者の変更があれば、更新し再配布するとともに、行政向けに活動団体の取り組みや、シニックバイウェイ情報を提供する(仮)ウエルカムエリア通信を配信。</li> </ul>	
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期集中活動の取り組みにおいて、支笏湖では、東海大学学生とのコラボレーションによる「支笏湖雪灯りの散歩道」の他、ルートが連携した「キャンドルナイト～ 灯りで繋ぐ雪の道～」を恵庭では、「えにわスノーフェスタ2006」をそれでぞれ、今年、新たに企画・実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬期集中活動の取り組みにおいて、ルートが連携した「キャンドルナイト～ 灯りで繋ぐ雪の道～」を後援。記者発表など、活動のPRを行った。</li> </ul>	
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支笏湖シニックシャトルバス、恵庭いいとこどりツアーや、活動団体が地域ガイドとして乗車。継続に向け、魅力ある地域ガイドの確保が課題となっており、今後、取り組みを進める。</li> </ul>		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支笏湖において、洞爺・ニセコエリアと連携した海外旅行者モニターツアーを実施。</li> <li>(受け入れに伴う、ルート・メニューを提案・試行)</li> <li>・地域の旅行業者と連携し、恵庭いいとこどりツアーアーハナ・紅葉ツアーアーハナ)を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア内のレンタカー等へ集中活動月間紙を配布するとともに、記者発表など、ホームページを活用した情報発信を実施。</li> <li>・海外観光客の利用も考慮した情報受発信のあり方に関する調査検討を実施。</li> </ul>	
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シニックバイウェイ北海道活動団体以外の地域の方々と連携した取り組みを実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・植栽活動、清掃活動をはじめ、イベント等においても、シニックバイウェイ北海道活動団体以外の自治体や、関連行政機関と連携した取り組みを実施。</li> </ul>	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国有林内の産業遺産見学として、恵庭森林鉄道の歴史を歩いてみるなど、地域の隠れた魅力を発見する活動を実施。今後は、全道で展開していくトレジャーハントなどあわせ、地域の歴史・文化を活かした新たな魅力づくりを進めていく。</li> </ul>		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ウェルカム北海道エリア)	報告者:ウェルカム北海道エリア代表 泉谷 清 / 札幌開発建設部	報告年月:2006/3/31
-------------------------------	----------------------------------	----------------

		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
支笏洞爺ニセコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	・支笏洞爺ニセコルートが連携し、「支笏洞爺ニセコを巡る 見る・食べる・遊ぶ ドライブマップ」「キャンドルナイト～ 灯りで繋ぐ雪の道～」、「海外旅行者モニターツアー」を実施。次年度以降は、実行委員会等の組織を立ち上げ実行予定。	・「キャンドルナイト～ 灯りで繋ぐ雪の道～」を後援。「支笏洞爺ニセコを巡る 見る・食べる・遊ぶ ドライブマップ」では、景観・地域資源の保全活用に関する意識調査を実施。「海外旅行者モニターツアー」では、海外旅行者のニーズ調査を実施。	
	地域住民、旅行客が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	・恵庭岳公園線における「植えるかむフラワーロード」、「ウェルカム」の気持ちをあらわす、「千歳からはじまる北海道エアポート花ロード36」など、「ウェルカム」という言葉がエリアのキーワードになりつつある。		
	ウェルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要がある。	・千歳からはじまる北海道エアポート花ロードでは、500名以上の小学生が植栽に参加。小学生に対するシニックバイウエイ(景観づくり)の周知を実施。	・市街地部の景観改善方策のあり方について、各主体間の共通認識を図るために、国道36号線、恵庭バイパス～千歳市街地について住民参加による現道景観診断を実施。	
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	・9月集中活動月間において、えにわシニックプロジェクトが主催し、地域の食と環境について考える「まちの魅力をさぐる！！シニックシンポジウム」を開催。また、活動団体お勧めの地産地消のレストランを推薦、エコドライブ運動に参加。	・恵庭市、札幌開発建設部、札幌土木現業所千歳出張所が「まちの魅力をさぐる！！シニックシンポジウム」を後援。	

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シーニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートを巡る  
『見て・食べて・遊ぶドライブマップへ秋号～』

SW-1

【内 容】9月集中活動月間にあわせ、支笏洞爺ニセコルート内のおすすめ景観ポイント・イベント・ドライブコースを掲載したドライブマップを作成。情報拠点や道の駅等で配布するとともに、ドライブマップを使った「地域再発見クイズラリー」(10月3日～11月7日)を実施。

【配布部数】7000部 / 【配布場所】情報拠点や道の駅、オートキャンプ場等

【クイズラリー参加者】70名(10月末日現在)

■ドライブマップ(地域のサービスクーポン付き)

■地域再発見クイズラリー

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453(ヨゴサン)530(ゴミゼロ)キャンペーン』in支笏湖

SW-2

【内 容】支笏湖温泉～丸山分岐までの国道453号の清掃活動を実施。5月30日に、ちなんだゴミゼロ(530)運動。

【主 催】特定非営利活動法人 支笏湖まちづくり機構N e oステージ

【実施日】5/30(月)午前6時15分

【参加者】60名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『秋の453(ヨゴサン)キャンペーン』

SW-2

【内 容】秋の453(ヨゴサン)キャンペーンとして、支笏湖温泉から丸山分岐までの国道453号の清掃活動を実施。今回は、支笏湖小学校が実施している園地の清掃活動と実施日をあわせ、地域が一体となって清掃活動を実施。

【主 催】特定非営利活動法人 支笏湖まちづくり機構N e oステージ

【実施日】9/30(月)

【参加者】40名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭岳公園線ウェルカムフラワーロード』

SW-3

【内 容】恵庭インターチェンジから市街地に向け、約900メートルの中央分離帯に花の植栽を行い「インターチェンジ花ロード」に。

【主 催】恵庭市・土木現業所・えにわシニックプロジェクトの協働事業として実施

【実施日】6月4日(土)午後1時

【参加者】150名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『千歳エアポート花ロード3』

SW-4

**【内 容】** 新千歳空港へのアクセス道路である国道36号を北の玄関口としてふさわしい環境となるよう沿道植栽を実施。今年で3回目をむかえる取り組みであり、市内小学校9校の他、千歳市、千歳フラワーマスターの会、花農業部などが参加し、多年草である芝桜の植栽やプランターを設置。自分たちが住む地域への関心も高まり、シニックハイウェイ制度の周知にも繋がった。

**【主 催】** 千歳青年会議所

**【実施日】** 9/21（水）午前9:30

**【参加者】** 600名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『恵庭いいとこりツア～恵庭の花めぐりHan aツアー～』

SW-5

**【内 容】** シニックのメンバーがガイドとなり、恵庭市内の花めぐりバスツアーを実施。恵庭在中のガーデナーとの交流、ボブリ創作体験の他、レストランでのランチや恵野ガーデニング散策・ティータイム等、恵庭の魅力をPRとともに、今後のツアーアンケート調査を実施。

**【主 催】** えにわシニックプロジェクト

**【実施日】** 7月9日（土）10時00分～16時30分 参加料 3500円

**【参加者】** 38名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『えにわの秋めぐり 紅葉ツアー』

SW-5

**【内 容】** 地元ボランティアガイドが同行し、恵庭市内の秋のおすすめ場所をめぐるバスツアーを実施。JR恵庭駅前発着で、紅葉スポットのトレッキングや地域食材を用いた野外ランチ、絵手紙作り等を体験。恵庭の秋の魅力をPRとともに、今後のツアーアンケート調査を実施。

**【主 催】** えにわシニックプロジェクト 恵庭市観光協会

**【実施日】** 10/8（土）

**【参加者】** 43名

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

サンセットコンサート・クリスマスイベント

SW-6

支笏湖においてエリアの魅力を伝える取り組みとして、夏には「サンセットコンサート」、冬には「クリスマスイベント」を実施。

**～サンセットコンサート～**

**【実施日】** 7月9日（土）  
**【場 所】** 支笏湖遊覧船乗り場  
**【内 容】** サンセットコンサート、灯籠流し、海上花火大会

**【主 催】** 支笏湖まちづくり実行委員会  
**【共 催】** NPO法人 支笏湖まちづくり機構Neoステージ

**～クリスマスイベント～**

**【実施日】** 12月21日（水）～23日（金）  
**【場 所】** 赤い三角屋根ユースホステル旧館  
**【内 容】** 21日（水）Bar「しこっと」  
22日（木）小学生向けイベント  
23日（金）クリスマスコンサート  
**【主 催】** NPO法人 支笏湖まちづくり機構Neoステージ

## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『支笏湖シーニックシャトルバスの運行』

【内 容】 支笏湖温泉から丸駒温泉、オコタンベ湖、樽前山7合目、苔の洞門まで、支笏湖周辺を巡るシャトルバスを運行。Neoメンバーや地元住民がガイドとなり、地元ならではの地域情報を提供するとともに、朝屋の2便を運行することで山登りや湯巡りなど各地への滞在を可能とした。

【主 催】 NPO支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【実施日】 9月5,6,7,14,15,16,17,19,20,21,22日（1便900、2便1300）\*料金\_500円

【参加者】 230名



SW-7

## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 支笏湖 雪あかりの散歩道

【内 容】 支笏湖の自然豊かな冬とキャンドルの灯かりが織り成す幻想的なひと時を楽しでもらおうと、氷濱まつりに合わせ「支笏湖ゆきあかりの散歩道」を開催。東海大学の学生とのコラボレーションが実現したほか、1月28日と2月4日の2日間は、シーニックハイウェイ北海道、支笏洞爺ニセコを駆け「キャンドルナイト～灯で繋ぐ雪の道～」としてルートが連携した取り組みを行った。

【実施日】 1月28日（土）～2月19日（日）の土曜、日曜、祝祭日

【主 催】 NPO法人 支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【場 所】 支笏湖温泉（商店街支笏湖側園地）



SW-8

## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### キャンドルナイト — 灯りで繋ぐ雪の道 —

【内 容】 シーニックハイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約20,000本の協賛があり、支笏は雪あかりの散歩道を洞爺は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をはじめ、喜茂別町や積知安町、蘭越町のまちなみ、中山峠など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが想い思いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

【実施日】 1月28日（土）、2月4日（土）

【主 催】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、京極町景観を語る会、NPO法人洞爺にぎわいネットワーク

【共 催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ、真狩村づくり研究会、ニセコ観光協議の会、ニセコ広域観光委員会、NPO法人ひづりハーネット、きもへつWAO、㈱ニセコリゾート観光協会、開拓WAO



SW-9

## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『外国人観光客モニターツアー』

【目 的】 ①ニセコ地域を訪れる外国人旅行者（主に豪人旅行者）の周遊・レクリエーション活動に対するニーズ把握  
②広域周遊環境改善による支笏洞爺ニセコルート全体の魅力度向上、集客力の増加  
③連携事業によるエリア間の連携強化

【実施日】 支笏湖コース 2月15日(水) 洞爺湖コース 2月22日(火)

【実施主体】 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議（ニセコ羊蹄エリア情報分科会）

【調査協力】 (社)北海道開発技術センター



**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『外国人観光客モニターツアー』支笏湖コース

SW-9

【参加者】オーストラリア人：8名、ロシア人：2名、香港人：2名 合計12名

【スケジュール】  
 ①12:00 ニセコ出発  
 ②13:00 道の駅「フォレスト276」  
 ③14:30 支笏湖ビジターセンター  
 ④15:30 丸駒温泉  
 ⑤16:40 支笏湖氷濱まつり  
 ⑥17:40 休暇村支笏湖  
 (温泉入浴・食事・アンケート記入)

【参加者の声】ヒアリングシートより  
 - すごい体験をした。次回はもっとゆっくり過ごしたい。  
 - 湖と背景の山並みなどの自然に究極の美を感じた。  
 - 現地のスタッフが親切で演出・対応もすばらしかった。  
 - 温泉の景観・サービスは、フォーストクラスだった。  
 - 今まで食べた中で最高の日本料理だった。  
 - 温泉でのマナー等を英語で解説してほしい。  
 - 英語標記・パンフレット・解説の充実を望む。

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『情報拠点 赤い三角屋根～支笏湖ユースホステル旧館』

SW-10

【内 容】 「赤い三角屋根」支笏湖ユースホステル旧館で、地域情報やシニックバイウェイ情報を発信する情報拠点を開設。10月9日には、しこつ湖紅葉祭り会場内に情報拠点を移動。来場者への情報発信を行う。

【主 催】 NPO支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【実施日】 9月・10月中旬までの・金・土・日 11:00~15:00

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『てづくりしょっはNe o(ネオ)』

SW-12

【内 容】 地元の主婦によるてづくりのクラフト作品や松ぼっくり等のクラフト用素材を販売。手作りクラフト体験やコーヒー等飲み物の販売を実施。

【主 催】 NPO支笏湖まちづくり機構Neoステージ

【実施日】 7月～10月中旬までの月・金・土・日 11時00分～15時00分

**支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

スノーフェスタ2006 スキー場であそぼう

SW-13

【内 容】 第34回に向かえる恵庭市民スキー大会にあわせ、親子で楽しめる冬のイベントを開催。恵庭のすばらしい冬の景色とかんじきを体験する「かんじき探検隊」など、冬と雪を楽しむイベントを実施。軽食コーナーを設け、次年度のスノーフェスタ事業費への協力を呼びかけた。

【実施日】 3月5日（土）（日）10:00～14:00 恵庭市民スキー場

【共 催】 えにわシニックプロジェクト/恵庭市教育委員会/恵庭スキー連盟/恵庭スキー学校/歩くスキークラブ/日赤バトーレル/島松ハイヤー

【後 援】 恵庭市体育協会/北海道新聞社千歳支局/千歳民報/なりたスポーツ/ノア・スポーツクラブ/豊栄スポーツ

## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『花と音楽のシニックイベント～恵庭・花と暮らし展協賛～』

SW-14

【内 容】 花を暮らしの中に普及させることを目的に市民主導で毎年開催されている「恵庭・花とくらし展」の協賛団体となり、「花と音楽のシニックイベント」としてシニックコンサートを開催。また、シニックバイワエイ北海道のビデオ放映やパネル展、集中活動月間情報誌紙の配布などPR活動を実施。

【主 催】 恵庭花のまちづくり推進会議 協賛：えにわシニックプロジェクト

【実施日】 6月26日(日)14時15分～15時00分

【参加者】 総来場数5,000名 【シニックコンサート100名】



## 支笏洞爺ニセコルート《ウェルカム北海道エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『まちの魅力を探る!!』～環境と食の日本一を目指して～

SW-15

【内 容】 まちの魅力を再認識し、住民が誇りを持てるよう、改めて恵庭市を考えるイベントを実施。まちの環境や歴史を探るとともに、恵庭で活躍されている方々を迎え、集中活動月間のテーマでもある食と環境についてシンポジウムを開催。

【主 催】 えにわシニックプロジェクト

【実施日】 9/23 (金) 1stステージ 9:00～体験コース「環境を探る」「歴史を探る」

2ndステージ 14:30～シンポジウム「環境と食の日本一を目指して」

3rdステージ 17:00～地域食材を用いた交流会

【参加者】 120名



平成17年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告  
《洞爺湖エリア》

- O. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

## 0. 地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:洞爺湖エリア)

ルート名称: 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

★: ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

	基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度 地域活動(総括)
景観形成	洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き続き拡大展開されるなど、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。</li> <li>・今後は活動の継続に向けた仕組み・組織づくりについての再検討が必要。</li> <li>・今後も景観活動実施団体を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえた、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。</li> </ul>
		サクラの植栽		
		洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理	S T - 1	
	温泉街らしさを演出する	花と緑(紅葉する樹木)の植栽		
		洞爺湖温泉の花・プランター整備		
		湯煙のあるまちづくりの推進		
	果樹園などの田園景観を整える	温泉街のサインの統一		
		くだもの村の統一看板の設置		
		馬の歩く道景観づくり		
		花と地区的花壇整備		
		よごさん(453)キャンペーンの実施	S T - 3	
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去	花による沿道の演出	S T - 1	
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エリアの人材育成等についての取り組みは実施されたが、産業活性化に関する取り組みが行われず、今後はコミュニティビジネス等についても検討が必要である。</li> <li>・「環境」の視点を取り入れた活動検討、及び展開を図る。</li> <li>・地域資源活用による情報提供の活動を次年度、重点項目として位置づける。</li> <li>・地域資源ツアー(ボランティアガイド参加)の企画、実施。</li> <li>・海外観光客受け入れに向けた、検討、ソフトインフラ整備。</li> </ul>
		地域資源マップの作成		
		コミュニティビジネスの研究		
	エリアの産業の活性化	地産地消の推進		
		保養型温泉観光の推進		
		体験型農業の推進		
	エリアの人材育成	NPO化に向けた研修会の開催		
		地元の学校と連携した活動の推進	S T - 10	
		エリア人材登録制度の検討		
		タウンミーティング・シニック塾の開催		
観光振興	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度、観光振興に関しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。</li> <li>・今後、洞爺エリアの観光振興として重点に的に検討すべき事項は以下の通り。</li> <li>・「食・健康」の取り組みに関する検討(地場産品活用、温泉等)</li> <li>・各種のターゲットごとの観光振興方針の検討。(海外、道外、札幌圏等のターゲット)</li> <li>・情報提供に関する活動の検討。(各種インフラ点検、受け入れ態勢検討等)</li> <li>・情報提供に関する活動の検討。(エリア情報窓口・冊子・マップ等)</li> </ul>
		おもてなしキャンペーンの実施		
		シニックデッキの設置	S T - 9	
	資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	S T - 8	
		エコミュージアムガイドブックの発行		
		エコミュージアムツアーの企画		
		ターゲットを絞った散策・体験ツアーの企画運営	S T - 6	
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実	エリア人材バンクの設立		
		マップ・パンフレットの作成		
		物産展の開催		
		花和地区的花壇整備		
		ホームページやエリアマップなどでの情報発信	S T - 7	
	シニックバスツアーの企画・運行 エリアの資源を活用した複合ツアーの企画 イベントの企画・運営 人材育成のための研修会などの開催	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S T - 2	
		★ルートを対象としたツアー等の企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	S T - 4	
		★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行(ドライブマップ)	S T - 5	

## 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
洞爺湖に彩を添える	眺望ポイントの調査研究		調査研究までは達しなかった。	ゆったリズム体験俱楽部	平成17年度	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、眺望ポイントの調査は行われなかった。今後学生との連携活動において	・エリア全体の取り組みとして「看板撤去活動」が昨年度に引き続き拡大展開されるなど、活動団体の景観に対する意識向上が図られている。 ・今後は活動の継続に向けた仕組み・組織づくりについての再検討が必要。 ・今後も景観活動実施団体を中心として、「景観診断」等の結果も踏まえた、ルートの景観づくりに関する指針等の検討、及び作成を行う。
	サクラの植栽		「MOVE 洞爺湖 2005」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 虻町観光協会 ほか	2005/4/29	・有珠山噴火の被災にあった洞爺湖温泉の復興支援と清掃活動を目的とし、当月は300名を超えるボランティア参加者によって、洞爺湖岸の清掃活動、花壇整備や街路樹の植樹などを行った。	
	洞爺湖畔の清掃・彫刻の管理						
	花と緑(紅葉する樹木)の植栽	S T - 1	『シニック花壇の整備(駐車帯の緑化活動)』	洞爺にぎわいネットワーク 洞爺湖温泉観光協会虻町 観光協会 レイクトピア21 ほか	2005/8/7	・国道230号沿いの駐車帯(虻田町入口付近)に活動団体の方が種から育てた3種類のマリーゴールドを植栽。 ・虻田町の玄関口として観光客を温かく迎えることを目的に実施植栽後も定期的に活動団体が中心となり、清掃活動を行っている。 ・管内の福祉施設と連携した活動展開(花の育成～植樹まで)を図りたい。	
温泉街らしさを演出する	洞爺湖温泉の花・プランター整備		プランター整備	洞爺にぎわいネットワーク	7月	・昨年に引き続き実施。 ・今後はシニック花壇と連携づけ、管内の福祉施設と連携した活動展開(花の育成～植樹まで)を図りたい。	
	湯煙のあるまちづくりの推進		手湯・足湯スタンプラリー	洞爺湖温泉観光協会	2005/9/1～ 2006/6/30	12箇所のスタンプを集め、応募するとペア宿泊券などが当たるキャンペーンを実施。	
	温泉街のサインの統一		サイン整備についての検討	洞爺湖温泉観光協会 虻町観光協会	継続検討中	・関係機関連携事業としてレイクトピア21を中心にサイン整備について検討を進めた。	
景観形成	くだもの村の統一看板の設置		くだもの村の統一看板の設置	そうべつくだもの村	継続展開中	・平成15年度に「くだもの村統一デザイン看板」を新たに設置したことから、平成16年度既設老朽化した看板を撤去することとした。	
	馬の歩く道景観づくり		「馬に乗って蹄鉄を探すゲーム(トレジャーハンティング)」	大滝冒険俱楽部	年3回	・「馬に乗って蹄鉄を探すゲーム(トレジャーハンティング)」は、年3回実施。 ・雪が降るまでに3回実施。参加者には概ね好評。 ・各20名弱の参加者有り(2,000～5,000円/人・回)	
	花和地区的花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	—	・今年度は、シニック花壇整備を主な緑化活動としたため、花和地区については実施しなかった。 ・今後実施の有無については、再度検討を行う。	
	よごさん(453)キャンペーンの実施	S T - 2	よごさん(453)キャンペーンの実施	そうべつくだもの村 大滝冒険俱楽部 洞爺にぎわいネットワーク ほか	2005/6/19	・参加者数150名、清掃範囲は延べ150kmにも及び、収集したごみの量は4tにも達した。 ・シニックバイウェイの理念等、今まで活動団体しか理解していなかったことが、地域住民に直接語りかけることで理解の輪が広がった。 ・沿道景観の向上は多くの地域住民が望んでいることであり、その取り組みのきっかけとなった。	
	花による沿道の演出		沿道美化活動	そうべつくだもの村 虻町観光協会 ほか	平成17年度	・国道453号沿いの清掃活動やプランター設置等の花による沿道美化活動が町内会単位、個人単位で自主的に実施されている。	
	エリアの景観ルールづくり		エリアの景観ルールづくり	エリア全体での検討	継続検討中	・エリア代表者会議にて、ビューポイント調査等と絡めた形で次年度さらなる検討を進めることに決定。	
看板やノボリの撤去			看板設置状況調査及び景観阻害 看板診断並びに撤去実施調査	そうべつくだもの村 虻町観光協会 レイクトピア21推進協議会 エコミュージアム構想推進部会	継続検討中	・エコミュージアムを推進している西胆振6市町村(伊達市・虻田町・豊浦町・洞爺村・大滝村・虻町)に設置している看板を調査。 ・全域における設置状況を把握する(看板設置状況データベースの構築)。 ・設置看板に対し、独自判断基準により評価を実施。 ・撤去に向け、設置者等に対し交渉を実施。	

ルート名:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔			報告年月:2006/3/31		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
エリアの資源の発掘と保全活用	エリアの資源の研究会の開催		エリアの資源の研究会の開催	レイクトピア21	平成17年度	・フィールド(自然・火山・環境)学習事業と資源調査を13回実施。	・エリアの人材育成等についての取り組みは実施されたが、産業活性化に関する取り組みが行われず、今後はコミュニティビジネス等についても検討が必要である。 ・「環境」の視点を取り入れた活動検討、及び展開を図る。 ・地域資源活用による情報提供の活動を次年度、重点項目として位置づける。 ・地域資源ツアー(ボランティアガイド参加)の企画、実施。 ・海外観光客受け入れに向けた、検討、ソフトインフラ整備。
	地域資源マップの作成		地域資源マップについての検討	ゆつたりズム体験倶楽部	平成17年度	・札幌国際大学、虻田高校との連携活動、HP作製を主な取り組みとしたため、地域資源マップについては、次年度の検討課題となった。	
地域づくり	コミュニティビジネスの研究		実施せず	洞爺にぎわいネットワーク	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、コミュニティビジネスの研究は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組む予定。	・エリヤの資源の発掘と保全活用
	地産地消の推進		実施せず	ゆつたりズム体験倶楽部	—	・今年度は、主に札幌国際大学や虻田高等学校と連携した取り組みに専念したため、地産地消の推進は行われなかった。今後学生との連携活動において取り組む予定。	
	保養型温泉観光の推進		「健康促進型の温泉活用と食事法」の実験実施	レイクトピア21 虻町観光協会	平成17年度	・レイクトピアの取り組みとして「健康促進型の温泉活用と食事法」に関する実験を実施。 ・対象は、団塊の世代の道内観光客。(長野県の鹿教湯温泉を参考に)	
	体験型農業の推進		そうべつりんご祭り等でのPR	そうべつくだもの村 虻町観光協会	2005/10/19	・そうべつりんご祭り等のイベント等によって、体験型農業の推進を行っている。	
エリアの人材育成	NPO化に向けた研修会の開催		実施せず	レイクトピア21	—	・町村合併等の関係から、レイクトピア21のあり方(存続等)について検討中であり、NPO化については議論されていない。	・各活動団体毎に独自の研修会が開催されている。 ・レイクトピア21では、エリアの資源の研究会が数回開催された。
	地元の学校と連携した活動の推進		地元の学校と連携した活動の推進	ゆつたりズム体験倶楽部	継続検討中	・次年度予定の観光イベントや地域住民活動への生徒や学生の参加や役割等について、現在虻田高等学校、札幌国際大学と連携した検討を進めている。	
	エリア人材登録制度の検討		情報発信・ガイド事業の実施	洞爺にぎわいネットワーク ゆつたりズム体験倶楽部 レイクトピア21 大滝冒険倶楽部	平成17年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を6回実施。	
	タウンミーティング・シニック塾の開催		研修会などの開催	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク ゆつたりズム体験倶楽部 レイクトピア21 虻町観光協会	平成17年度	・各活動団体毎に独自の研修会が開催されている。 ・レイクトピア21では、エリアの資源の研究会が数回開催された。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)		報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔			報告年月:2006/3/31		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	温泉街ガイドブックの発行		温泉街ガイドブックの発行に向けた情報収集	洞爺にぎわいネットワーク	平成17年度	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、現在情報収集中。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。	
	おもてなしキャンペーンの実施		「観光誘致キャラバン」の実施	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会	年3回	・「観光誘致キャラバン(名古屋、札幌、青森)」として、道内外での洞爺湖温泉のPRを実施。(継続事業、壮瞥町観光協会と連携して実施。)	
	シーニックデッキの設置	S T - 3	シーニックデッキの設置	そうべつくだもの村	2005/9/10-10/10	・道の駅「そうべつサムズ」に隣接し、一面に広がる果樹園と昭和新山を一望できるデッキを新設。 ・次年度以降の販売展開に向け、壮瞥特産取れたて果実のジュースの試飲も実施。 ・デッキを設置したことで、今まで以上に外でゆっくりくつろいで頂くことができ、観光客の滞留効果につながった。	
資源と人材を活かしたエコミュージアムの形成	フォトコンテストの開催	S T - 4	フォトコンテストの開催	洞爺にぎわいネットワーク	2005/9/17-30	・シニックパバイウェイや活動内容の普及を目的に、今年はこの会場の他に、持ち回り(病院、役場など町内2~3箇所)で作品展を開催することになった。 ・今後は支笏洞爺ニセコルートとしての活動展開を図る必要がある。	
	エコミュージアムガイドブックの発行		エコミュージアムガイドブック:未発行	レイクトピア21	継続検討中	・素案までは作成し、印刷を残すのみの状況まで出来ていたが、財源の確保が出来なかったこと、市町村合併等に因る関連し、発行に至っていない。	
	エコミュージアムツアーの企画		エコミュージアムツアー	壮瞥町観光協会 レイクトピア21 ゆったりズム体験倶楽部 大滝冒險倶楽部	年6回	・来訪者を対象とした情報発信・ガイド事業を6回実施。	
	ターゲットを絞った散策・体験ツアーアの企画運営	S T - 5	ホーストレジャーハンティング (馬に乗って宝さがし)	大滝冒險倶楽部 (大滝アウトドアフェスティバル共催)	2005/9/18,19	・当人は天候が今一で人手が少なかったが、来て頂いた方には活動のPRができ、喜んで頂けた。 ・今回は共催という形で参加したが、個別活動と連携活動の充実を図りたい。	
	エリア人材バンクの設立		エリア人材バンクの設立	洞爺にぎわいネットワーク ゆったりズム体験倶楽部 レイクトピア21 大滝冒險倶楽部	平成17年度	・地域ボランティアを対象とした来訪者向けの情報発信・ガイド事業を6回実施。	
観光振興	マップ・パンフレットの作成		洞爺湖マップの作成	洞爺湖温泉観光協会	平成17年度	・洞爺湖マップ(合併による新規更新)。12万部印刷。 ・次年度4月以降発行予定。 →制作・印刷費は、各自治体からの補助金	・今年度、観光振興に関しては個別の活動に比重が置かれていたが、後半にかけてエリア全体・ルート全体の取り組みに向けた検討が進められている。 ・今後、洞爺エリアの観光振興として重点的に検討すべき事項は以下の通り。 ・「食・健康」の取り組みに関する検討(地場産品活用、温泉等) ・各種のターゲットごとの観光振興方針との検討。(海外、道外、札幌圏等のターゲット) (各種インフラ点検、受け入れ態勢検討等) ・情報提供に関する活動の検討。(エリア情報窓口・冊子・マップ等)
	物産展の開催		「観光誘致キャラバン」の実施	壮瞥町観光協会 洞爺湖温泉観光協会	年3回	・「観光誘致キャラバン(名古屋、札幌、青森)」として、道内外での洞爺湖温泉のPRを実施。(継続事業、壮瞥町観光協会と連携して実施。)	
	花和地区的花壇整備		実施せず	洞爺湖温泉観光協会	—	・今年度は、シニック花壇整備を主な緑化活動としたため、花和地区については実施しなかった。 ・今後実施の有無については、再度検討を行う。	
	ホームページやエリアマップなどでの情報発信		洞爺湖エリアホームページの作成に向けた検討	ゆったりズム体験倶楽部 洞爺にぎわいネットワーク ゆったりズム体験倶楽部 レイクトピア21	継続検討中	・地域住民が主体に参加できる地域と密着した鮮度の高い情報収集・提供を目指し、現在検討中。 ・今後はエリア全体の取り組みとしての展開を目指す。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
シニックバスツアーア企画・運行			シニックバスツアーア企画	エリア全体での検討	継続検討中	・“秋の453キャンペーンとエコミュージアムバスツア”と題し、企画していたが、雨天中止となった。 ・内容としては、エコミュージアムを見学し、地域資源を体験してもらう日帰りツア。	
エリアの資源を活用した複合ツアーア企画			複合ツアーア企画	エリア全体での検討	継続検討中	・全道トレジャーハンティングと絡め、洞爺湖エリアの地域資源を巡るツア	
イベントの企画・運営			イベントの企画・運営	エリア全体での検討	継続検討中	・各種既存イベントの継続展開がされている。 ・また、新たなイベントとして、洞爺湖温泉観光協会を中心とした連携活動として「浴衣まつり」が企画されている。	
人材育成のための研修会などの開催			研修会などの開催	エリア全体での検討	継続検討中	・各活動団体毎に独自の研修会が開催されている。 ・レイクトピア21では、エリアの資源の研究会が数回開催された。	
★ルートを対象としたイベントの企画・実施 (キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S T - 6	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ 「キャンドルナイト」	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク ほか		2006/1/28,2/4	・洞爺湖エリアイは温泉街を灯りで彩り、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが想い想いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。	
★ルートを対象としたツアーア等の企画・実施 (外国人観光客モニターツア)	S T - 7	外国人観光客モニターツアの実施	洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 壮瞥町観光協会 ほか		2006/2/22	・ニセコエリアとの連携強化が図れた。 ・参加者には満足して頂けた。外国人観光客のニーズを把握することが出来た。 ・次年度は、宿泊も想定した商品提供、メニュー開発が必要。	
★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行 (ドライブマップ)		ドライブマップの作成	洞爺湖エリアイ活動団体		平成17年度	・洞爺湖エリアイの紹介と他エリアの概要が把握できた。 ・既存のガイドマップとは異なり、シニックバイウェイに特化した形でのマップが作成できた。 ・次年度は、さらなる周遊促進を目的とした情報提供の充実が必要。	

## 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

- ・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2006/3/31
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針	平成17年度の活動内容	関係機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成	洞爺湖に彩を添える	洞爺湖畔に面した国道230号沿いでの花壇整備に対するVSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=60m)	担当事務所:有珠復旧事務所 協力自治体:虻田町	2005/8/7	活動内容:花植え・管理・除草・清掃	
	温泉街らしさを演出する	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「キャンドルナイト」への後援、活動への参加	室蘭開発建設部	2006/1/28,2/4		
	果樹園などの田園景観を整える	国道230号、国道453号の景観診断調査の実施	室蘭開発建設部	2005/11/28,12/1		
	『よごさん(453)キャンペーン』への参加。VSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=1,860m)	『よごさん(453)キャンペーン』への参加。VSP事業としての活動支援。 (実施区間 L=1,860m)	担当事務所:室蘭開発建設部 有珠復旧事務所 室蘭土木現業所 洞爺出張所 協力自治体:壮瞥町	2005/6/19	活動内容:清掃・除草 (広域清掃活動に参加)	
観光振興	「もてなし」による洞爺湖エリアのイメージ向上	「いぶり・さわやかアウトドアフォーラム2005(胆振支庁独自事業)」への参加	胆振支庁	2005/12/21		
	人との出会い・ふれあいのある観光地のしきみづくり	保養型温泉観光の推進	壮瞥町 経済課			
	洞爺湖エリアの観光サービス機能の充実					
地域づくり	エリアの資源の発掘と保全活用	エコミュージアム友の会(事務局:壮瞥町) 主催による各種地域資源調査等の実施。	壮瞥町 総務課			
	エリアの産業の活性化					
	エリアの人材育成	出前講座の実施	室蘭開発建設部			

## 3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

	基本方針	具体活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に 関わる事項	連携活動(プロジェクト)の推進	453キャンペーン	企画・検討	最終調整	●6月19日開催										
		看板撤去						企画・立案		現況調査・データベース作製				とりまとめ	
	キャンペーンの企画・運営	キャンドルナイト						企画・立案		最中調整	●1月28日実施	●2月4日実施			
		外国人観光客モニターツアー						企画・立案	最中調整	ルート検討会(1/23)	●2月22日実施				
	洞爺湖エリアの広報活動	ドライブマップ			企画・立案	作製	完成・設置開始								
		洞爺湖エリアホームページ作製						勉強会の開催		検討会	検討会	検討会	4月:第1弾アップ予定		
	その他	エリア代表者会議		●5月17日開催			●8月9日開催			●12月16日開催			●3月28日開催		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:室蘭開発建設部	報告年月:2006/3/20
--------------------------	-------------	----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に 関わる事項	行政連絡会議の実施											●事前ヒアリング実施	●3月14日開催		
	集中活動月間				6月集中活動月			9月集中活動月				2月集中活動月			

4. 審査委員会意見に関する報告

- 支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(洞爺湖エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート 洞爺湖エリア代表 白井祐輔	報告年月:2006/3/31
--------------------------	------------------------------	----------------

	支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	看板撤去活動の実施。今年度は西胆振6市町村(伊達市・虻田町・豊浦町・洞爺村・大滝村・壮瞥町)における設置看板の評価を行った。	
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	平成17年10月2日(日)「昭和新山生成60周年記念フォーラム」を開催し、コーディネーターに元NHK解説委員 伊藤和明氏をお招きし火山、防災・環境教育、エコツーリズムなどを地域住民と考えた。	
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	積極的な海外観光客誘致活動の展開(道内、道外、海外)や国際雪合戦の継続開催等を観光協会や自治体が中心となって実施している。	
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	「いぶり・さわやかアウトドアフォーラム2005(胆振支庁独自事業)」への活動団体の参加。	
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	洞爺湖エリアホームページ作製に向けた検討を現在進めており、次年度(平成18年度)には開設予定。	
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	「エコミュージアム友の会(事務局:壮瞥町)」が来年度新規団体として参入する。	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	「エコミュージアム友の会」が来年度新規団体として参入することから、昭和新山や洞爺湖を活用したさまざまな歴史、文化体験の連携メニュー等が提案されている。	
支笏洞爺ニ セコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	「ドライブマップ」や「キャンドルナイト」、「外国人観光客モニターツアー」の実施など、他の2エリアとの連携活動を実施した。	
	地域住民、旅行客が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	新たなピューアポイントの創出に関する検討会等を次年度予定している。(平成17年度 景観診断結果等を踏まえて検討)	
	ウェルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要がある。	—	
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	各活動団体それぞれが、地場産品のPR活動を展開している。具体的には、壮瞥町観光協会が物産展の開催。そうべつくだもの村が特製リンゴジュースの試飲をシーニックデッキにて実施した。	

**支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニック花壇の整備（駐車帯の緑化活動）』

ST-1

【内 容】 国道230号沿いの駐車帯（虻田町入口付近）に活動団体の方が種から育てた3種類のマリーゴールドを植栽。虻田町の玄関口として観光客を温かく迎えることを目的に実施。  
植栽後も定期的に活動団体が中心となり、清掃活動を行っている。

【主 催】 NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク

【実施日】 8月7日（9月の集中活動に向けて実施）

【参加者】 15名

【効果と課題】 ・緑化によって玄関口としての機能が増したこと、ゴミの数が少なくなった。  
・管内の福祉施設と連携した活動展開（花の育成～植樹まで）を図りたい。

**支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『453キャンペーン』

ST-2

【内 容】 そうべつくだもの村を中心となり、町内外の団体、関係機関の連携により、「良好な沿道環境、景観づくり」の一環として、国道453号や道道洞爺湖登別線等の沿線、駐車場公園を中心に清掃活動を実施。（ボランティアサポートプログラムとして登録）

【主 催】 そうべつくだもの村、虻田町観光協会 レイクトビア21 洞爺湖温泉観光協会 洞爺にぎわいネットワーク 大瀬蟹祭典実行委員会

【実施日】 6月19日(日)午前9時00分

【参加者】 150名

**支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シーニックデッキinそうべつ』

ST-3

【内 容】 道の駅「そうべつサムズ」に隣接し、一面に広がる果樹園と昭和新山を一望できるデッキを新設。  
次年度以降の販売展開に向け、社管特産取れたて果実のジュースの試飲も実施。

【主 催】 そうべつくだもの村

【実施日】 9月10日～10月10日まで（実充ジュースの試飲は土日のみ）

【効果と課題】 ・デッキを設置したことで、今まで以上に外でゆっくりくつろいで頂くことができ、  
観光客の滞留効果につながった。  
・社管特産ジュースの試飲は好評だったが、調査結果を参考に利用者ニーズに対応した  
次年度以降の販売戦略の検討が必要。

**支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『洞爺湖くるっと一周フォトコンテスト 入賞作品の展示』

ST-4

【内 容】 洞爺湖周辺の美しい沿道景観写真を通じて再発見することを目的とした、フォトコンテスト応募作品の展示を実施。

【主 催】 NPO法人 洞爺にぎわいネットワーク

【実施日】 9月17日～9月末まで（当初予定は19日までだったが、要望に応じて期間を延長）

【主 催】 約300名

【効果と課題】 ・シーニックハイウェイや活動内容の普及を目的に、今年はこの会場の他に、持ち回り（病院、役場など町内2～3箇所）で作品展を開催することになった。  
・今後は支笏洞爺ニセコルートとしての活動展開を図る必要がある。

## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『大滝アウトドアフェスティバル』

ST-5

【内 容】 大滝村をアウトドア体験の発信地として定着させ、体験交流人口の増加、宿泊客の増加等、観光振興を図ることを目指し、豊かな自然景観と、それを活かしたアウトドア体験が新たなまちづくりの希望になることのモデルケースとして継続して実施することを目的とする。

【事務局】 (共催) 大滝冒険俱楽部ほか

【実施日】 平成17年9月18日(日)、19日(祝)

【参加者】 50名(乗馬体験者数: 25組の計100人)

【効果と課題】 ・天候が今一で入手が少なかったが、来て頂いた方には活動のPRができ、喜んで頂けた。・今回は共催という形で参加したが、個別活動と連携活動の充実を図りたい。



## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『外国人観光客モニターツアー』

ST-7

【目 的】 ①ニセコ地域を訪れる外国人旅行者（主に豪華旅行者）の周遊・レクリエーション活動に対するニーズ把握  
②広域周遊環境改善による支笏洞爺ニセコルート全体の魅力度向上、集客力の増加  
③連携事業によるエリア間の連携強化

【実施日】 支笏湖コース 2月15日(水) 洞爺湖コース 2月22日(火)

【実施主体】 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議（ニセコ羊蹄エリア情報分科会）

【調査協力】 (社)北海道開発技術センター



## 支笏洞爺ニセコルート《洞爺湖エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### キャンドルナイト — 灯りで繋ぐ雪の道 —

ST-6

【内 容】 シーニックバイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリヤが連携。キャンドル約20,000本の協賛があり、支笏は雪あかりの散歩道を洞爺は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をはじめ、喜茂別町や幌知町、蘭越町など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが想い想いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

【実施日】 1月28日(土)、2月4日(土)  
【主 催】 NPO法人WAOニセコ羊蹄再発見の会、京極町景観を結ぶ会、NPO法人洞爺にぎわいネットワーク  
【共 催】 NPO法人支笏湖まちづくり機構Naoステーション、真狩村づくり研究会、ニセコ観光国際の会、ニセコ広域観光委員会、NPO法人しおべつWAO、東ニセコリゾート観光協会、蘭越WAO



平成17年度  
支笏洞爺ニセコルート活動報告  
《ニセコ羊蹄エリア》

- 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

## 0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	総括
景観形成	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	眺望ポイントの調査	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	S N - 1
		花と緑の植栽	S N - 2
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	S N - 3	
		廃屋の撤去	S N - 4
		フォトコンテスト	
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	S N - 5
		河川景観の保全と河畔林の創出	S N - 6
		散策路・フットパスの整備	
	エリアの景観ルールづくり 看板やノボリの撤去		・「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」と連携した取り組みとしての検討を継続する。
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用 地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進 地域の人材の育成と活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催	S N - 7
		音楽コンサートの開催	S N - 8
		地域資源の発掘・活用	S N - 9
			S N - 10
			S N - 11
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり エリアのきめ細かな情報の発信 地域とのふれあいを大切にした観光の推進	地域の人々と連携した活動の推進	S N - 12
			S N - 8
		タウンミーティング・研修会の開催	S N - 13
		食(農産物)の活用と売り込み	S N - 14
			S N - 15
			S N - 16
		ホームページで情報発信	
		ニセコをPRする冊子(英語・中国語)の作成	S N - 17
		エリアのホームページの作成	
		地域の歴史などに基づいたツアーの開催	
その他	★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～) ★ルートを対象としたツアーや企画・実施(外国人観光客モニターツアー) ★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行(ドライブマップ)	地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催	
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催	
		シーニックバスの運行	S N - 18
			S N - 19
		シーニックデッキ・カフェの設置	S N - 20
			S N - 21
			S N - 22
			S N - 23
			S N - 24
		★ルートを対象としたイベントの企画・実施(キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S N - 25
		★ルートを対象としたツアーや企画・実施(外国人観光客モニターツアー)	S N - 26
		★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行(ドライブマップ)	S N - 27
	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進(エキノコックス駆除活動)		・エリア全体の取り組みとするため、分科会を中心として他の活動団体や各自治体行政機関等との連携を強化する。

## 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
景観形成	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	眺望ポイントの調査		景観調査会等の実施	景観分科会 地域づくり分科会	平成17年度	・京極町更新地区に整備された「ビューポイント駐車帯」等の現地調査やエリア内のビューポイント整備について検討する景観調査会を景観分科会・地域づくり分科会の共催で実施。	
		神仙沼周辺の沿道の清掃活動	S N - 1	神仙沼周辺パノラマラインの清掃活動	共和町商工会青年部	2005/6/10	・全て手弁当の活動なので収集に際しては、部員さんから提供していただいた車に乗り合わせ、ゴミ袋も部長さんが提供。極力お金かけない活動に徹している。 ・今年は多雪だったため、神仙沼手前までしか清掃できなかったので、9月に再度神仙沼周辺の清掃活動を実施する予定。	
		花と緑の植栽	S N - 2	綺羅街道沿道植栽	NPO法人 ニセコまちづくりフォーラム	2005/6/5,19	・完全ボランティアにもかかわらず、1回目:80名、2回目:55名といった多数の方に参加頂いた。 ・活動開始から4年目ということで、町民のまちづくり・景観づくりに対する意識が非常に高まっている。	
			S N - 3	フラワーロードユリ植え	村づくり研究会	2005/6/11	・子供や女性、そして初めて植える人など和やかな雰囲気で作業が行われ、地域住民の交流が育まれた。 ・また札幌などからの参加者も年々増加している。(平成8年度からは、村外にも呼びかけを実施) ・活動開始から10年が経過し、すっかり初夏のイベントとして定着。	
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	廃屋の撤去		羊蹄山麓広域景観づくりにて検討	エリア全体	継続検討中	・後志支庁で推進する「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に活動団体メンバーが多数参加。 ・シニックと協働して取り組むべく内容として継続検討中。	
			S N - 4	公共物看板色塗り替え	京極町景観を考える会	毎月1~2回程度	・京極温泉の案内看板の塗り替えをボランティアで実施。 ・足場の組み立て等は地元の建設業者等の好意で無償で行った。 ・その他の看板については、現在、看板設置主体(開建、土壠、町等)に対して、実施の許認可について調整中。	
		フォトコンテスト		羊蹄山麓フォトコンテストの実施	景観分科会	平成17年度	・景観分科会主催の羊蹄山麓フォトコンテストを実施。 ・5~6月にかけて、管内5カ所にて展示会実施。	
				フラワーロードユリ植え実施	村づくり研究会	平成17年8月	・フラワーロードユリ植えに引き続き、満開時のユリロードをおさめたフォトコンテストを実施。 ・応募約30点が集まり、真狩フラワーセンターで展示会を実施。	
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	河川周辺の清掃や管理	S N - 5	尻別川周辺清掃	京極町景観を考える会	毎月1~2回程度	・完全ボランティアでの活動(芝刈り機、燃料代)にもかかわらず、毎回10名を超える住民参加がある。 ・最近では、町内外から「すごく綺麗になった」という声が多数挙がっており、参加者も効果を実感し次回の活動に繋がる励みになっている。 ・活動実施日は明確に定めず、天候や参加人数に応じてゲリラ的活動を展開している。	
		河川景観の保全と河畔林の創出	S N - 6	尻別川せせらぎまつり	しりべつりバーネット	2005/7/31	・川に親しみを持ってもらうことを目的として、尻別川河畔公園にて「遊ぶ」、「学ぶ」をテーマとして、川の楽校やカヌー・イカダ体験などを通じ、子どもが楽しみながら川に触れることのできる様々なイベントを実施。	
		散策路・フットバスの整備		尻別川沿いにおける散策路・フットバスの整備に向けた検討	しりべつりバーネット	継続検討中	・尻別川沿いにおける散策路・フットバスの整備に向けた検討会を実施。 ・アドバイザーとして大学教授等を講演会に招くなど、次年度以降の実施に向け展開中。	
エリアの景観ルールづくり				羊蹄山麓広域景観づくりにて検討	エリア全体	継続検討中	・後志支庁で推進する「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に活動団体メンバーが多数参加。 ・シニックと協働して取り組むべく内容として継続検討中。	
看板やノボリの撤去				羊蹄山麓広域景観づくりにて検討	エリア全体	継続検討中	・後志支庁で推進する「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」に活動団体メンバーが多数参加。 ・シニックと協働して取り組むべく内容として継続検討中。	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘・活用	ショートフィルム映画祭、絵画教室の開催 S N - 12	ニセコスケッチ教室	ニセコ広域観光委員会	2005/6/26	・牧歌的な風景が広がる有島記念公園。専門家の指導でスケッチ教室を開催。 ・親子連れの方には好評で、今後も参加したいとの希望が多くった。 ・前日の大雨により、当日の参加者は当初予定より少なかった。	・各関係機関、エリア内の他団体、他のエリアの活動団体等との連携強化、取り組みの継続に向けた仕組みづくりが必要。 ・各町村へのシニック活動に関する情報提供、活動団体の参加意欲向上に向けた勉強会等の企画・実施を進める。 ・地域住民への活動参加呼びかけ等、情報提供に関する方針検討を引き続き行う。
		音楽コンサートの開催 S N - 11	シニックコンサート	らんこしWAO	2005/6/11,7/2	・手づくりの域を超えないコンサートとして、来場者や出演者にも好評。(チラシも手作り) ・利益を度外視して、手作りパンや飲み物の販売などを行い、来場者にリラックスして音楽を聞いてもらえた。 ・同日に他の地域でコンサートがあり、来場者が予定より少なかったのが残念。	
		地域資源の発掘・活用 S N - 7	綺羅馬車	(株)ニセコリゾート観光協会	2005/7~10	・北海道では唯一田舎で運行となる観光馬車を走らせ、来訪者の満足度を得ることが出来た。 ・乗客と道行く地元の方との交流が自然と生まれるといった、馬車ならではの光景が市街地で展開された。 ・馬が体調不良になり、9月中に1ヶ月程度運行を中止するといったアクシデントがあった。 (※乗客は、3歳未満はノーカウントとしている。)	
		S N - 8	ニセコ山系ヘリツアー	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会	2005/9/11	・羊蹄山やニセコ山系を上空から見ることが出来るので、乗車した方は皆さん大変喜んで頂いた。 ・新たな景観の視点の発掘につながった。	
		S N - 9	講演会の開催「谷村志穂と語るニセコ地域の魅力とシニックバイウェイ」	らんこしWAO	2005/11/25	・シニックバイウェイのイメージアップ(地域住民への浸透)に貢献できた。 ・谷村さん自身の言葉でニセコ地域の魅力を語って頂けて大変参考になった。	
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	地域の人々と連携した活動の推進 S N - 10	『一般国道393号赤井川道路 見学会』	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会	2005/7/8	・一般国道393号赤井川道路の現在の工事状況を見学し、今後の工事予定等について、道路事務所より説明をして頂く。 ・見学終了後、蘭越で花を使った景観美化運動を進める園芸農家を講師にお招きし、景観を美化する秘訣について講演頂き、その後、意見交換を行った。	・地域住民への活動参加呼びかけ等、情報提供に関する方針検討を引き続き行う。
		S N - 11	シニックコンサート	らんこしWAO	2005/6/11,7/2	・手づくりの域を超えないコンサートとして、来場者や出演者にも好評。(チラシも手作り) ・利益を度外視して、手作りパンや飲み物の販売などを行い、来場者にリラックスして音楽を聞いてもらえた。 ・同日に他の地域でコンサートがあり、来場者が予定より少なかったのが残念。	
地域の人材の育成と活用	タウンミーティング・研修会の開催	S N - 13	三國シェフ味覚授業	(株)ニセコリゾート観光協会	2005/9/25	・ニセコ小、宮田小、近藤小から合計20名の小学校高学年の生徒が参加。 ・子供達はもとより、その親御さんやお手伝いスタッフとして関わった女性団体の方々も大変貴重な体験として喜んで頂いた。	・地域自らが魅力を高め、吸引力のある観光空間として発展することをめざし、また産業活動をキーワードに共に知恵を持ち寄り、力を出し合うための起点として、加えて冬期間の観光資源の再発見・活用をテーマに「ホワイトステージ・シリベシを開催。 ・講師としてお招きした、白鷗大学教授・福岡行政氏の基調講演には約300名が参加。後志の魅力や、景観を重視した道路づくりを目指すシニックバイウェイの可能性等について提言を頂けた。
			「ホワイトステージ・シリベシ」シンポジウム開催	ニセコまちづくりフォーラム シリベツリバーネット 他	2006/3/18		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	農産物など地場 産品を活用した魅 力づくり	食(農産物)の活用と売り込み	S N - 14	アスパラ祭り	きもべつWAO	2005/6/26	<ul style="list-style-type: none"> <li>来場者数は約200名にも上った。</li> <li>昨年度に引き続き来て頂いたリピーターや中山峠で配布したチラシ、タブロイド紙やHP等様々な情報告知により多くの方に来て頂けた。</li> <li>・アスパラを使ったレシピも8件応募があった。</li> <li>・食べ方や調理法を直接対面して伝えることで、お客様にも喜んで頂けた。</li> </ul>
		S N - 15	味覚祭り(じゃがいも)	きもべつWAO	2005/9/18, 24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材をPRし、多くの方々に知って味わって頂く取り組みとして9月中旬に2回開催。</li> <li>・18日は、あいにくの雨だったが用意した農産物は完売となり、24日(土)は、350人位の方が訪れる多くの賑わいを見せた。</li> <li>・直前に日程が変更となり、その対応(開催告知等)に苦労を要した。</li> </ul>	
		S N - 16	真狩ファーマーズマーケット	村づくり研究会	2005/9/23～ 10/10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備期間や広告期間が短かったため、訪れる人は、週末で50人程度と少數であった。</li> <li>・農家の方が主体となって販売メニューや料理レシピを提案する等、農家の方にとって新しいビジネスのきっかけになった。</li> <li>・また、告知方法などの改善を図れば集客アップも期待できるのでは。</li> </ul>	
	エリアのきめ細か な情報の発信	ホームページで情報発信		ホームページで情報発信	きもべつWAO	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度開設したホームページもサーバー容量や運用資金の捻出などで更新が滞っている状態。</li> <li>・次年度は、情報分科会で今後の展開・活用を検討。</li> </ul>
		S N - 17	ニセコガイドブック発行	ニセコ観光国際の会	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ニセコガイド」が今年で10年を迎えたことを記念して発刊。今回は、初夏のイベント情報やニセコ羊蹄エリアのシニックバイウェイを写真やマップと共に紹介。</li> <li>・ニセコ観光国際の会のホームページ上でもウェブブックとして公開中。</li> </ul>	
			エリアのホームページの作成	実施せず	情報分科会	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度開設したホームページもサーバー容量や運用資金の捻出などで更新が滞っている状態。</li> <li>・次年度は、情報分科会で今後の展開・活用を検討。</li> </ul>
	地域とのふれあ いを大切にした観 光の推進	地域の歴史など基づいたツアーの開催		勉強会の実施	シリベツリバーネット	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元での歴史・文化等の語り部育成を目的に、資源発掘や人材育成を目的とした勉強会を数回実施。</li> </ul>
		地域の歴史・文化を伝える語りべの会の開催		勉強会の実施	シリベツリバーネット	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元での歴史・文化等の語り部育成を目的に、資源発掘や人材育成を目的とした勉強会を数回実施。</li> </ul>
		ふれあいのある体験ツアーの企画開催		マイ田んぼツアーの実施	(株)ニセコリゾート観光協会	平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニセコの田園を活用し、田植・収穫等1年を通じて楽しめる企画を実施。</li> <li>・ホームページ等の情報提供で申し込み多数。参加者からも好評を得た。</li> </ul>
		シニックバスの運行	S N - 18	シニックなバスの旅“ぐるっと羊蹄一周バスツアー”	(株)ニセコリゾート観光協会	6月、9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度に引き続き実施したが、告知と同時に予約がいっぱいになる状態で、非常に人気の高いツアーとなった。</li> <li>・特に今年度は比較的町内や近隣市町村からの応募が多くなった。</li> </ul>
		S N - 19	ニセコ羊蹄周遊“シニックバス”	(株)ニセコリゾート観光協会	2005/8～10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の方からは、路線バス(町内の足)として今後も利用したいとの声があった。</li> <li>・周知期間が短かったことや告知方法が徹底していなかったため、町民や観光客にシニックバスが浸透しなかった。</li> </ul>	

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	エリア計画活動内容	NO	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	シーニックデッキ・カフェの設置	S N - 20	シーニックテラス in くっちゃん駅前	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会	2005/6~10	・駅前通にある商店街の小さなポケットパーク。6月集中活動月間中は、インターネットも使える情報センターとして機能。	
		S N - 21	シーニックカフェ「曾我の散歩道」	ニセコ観光国際の会	2005/6~10	・6月と9月の総計で237名の方が訪れて頂き、大変好評であった。 ・シーニック関連のイベント等(絵かきさんズのスケッチ、シンガポール対応等)があつたため、6月の方が入り込み数は多かった。 ・9月は広報誌(タブロイド、ドライブマップ)のみの告知だったため、まとまった入り込みは無かった。	
		S N - 22	公園カフェイーグル	(株)ニセコリゾート観光協会	2005/7~10	・景色がとても良いことから、お客様からも好評いただいた。 ・ニセコ特産のアイスクリームや地ビールの提供で町のPRにもつながった。 ・綺羅馬車の発着所として活用することで、カフェ利用促進の相乗効果も期待した。 ・未利用町営施設の再活用することで、既存ストックの有効活用につながった。	
		S N - 23	シーニックカフェくっちゃんin北四線	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会	2005/9/3~10/10	・昨年度のリピーターも多く来られ、「去年来てからずっと楽しみにしていた」との声をいただきニーズはあると改めて実感。 ・今は、民間タクシー会社が観光タクシーを回して来てくれた。 ・カフェのニーズが高いことが分かったので、中長期的な採算ベースに乗せる仕組みづくりが必要(ファームインレストラン等)。	
		S N - 24	真狩シーニックカフェ	村づくり研究会	2005/10/4~10	・準備期間や広告期間が短かったため、訪れる人は、ごく少数。 ・ファーマーズマーケット同様、ユリの満開時期に合わせて開催する等、開催について再検討する必要がある。 ・保健所の申請関係でカフェの営業が1週間となってしまったが、今後は集中活動月間期間中の継続的営業も見据えた営業戦略の検討が必要。	
	★ルートを対象としたイベントの企画・実施 (キャンドルナイト～灯りで繋ぐ雪の道～)	S N - 25	支笏洞爺ニセコルートをつなぐ「キャンドルナイト」	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会 他	2006/1/28,2/4	・「キャンドルナイト～灯かりで繋ぐ雪の道～」としてルート連携活動が実現。活動団体の他、地域の方々も協力も得られた。今後の継続・エリアへの展開が課題となる。	
	★ルートを対象としたツアー等の企画・実施 (外国人観光客モニターツアー)	S N - 26	外国人観光客モニターツアー	ニセコ羊蹄エリア情報分科会	2月15日(水)、22日(水)	ニセコ羊蹄エリア情報分科会主催のもと、ウェルカム北海道エリア・洞爺湖エリアと連携し、ニセコ発着の海外旅行者モニターツアーを実施。受け入れに伴う、ルート・メニューを提案・試行を行う。	
	★ルートを対象としたエリアマップの企画・発行 (ドライブマップ)	S N - 27	ドライブマップの作製	ニセコ羊蹄エリア情報分科会 ニセコ羊蹄エリア活動団体	平成17年度	・ニセコ羊蹄エリアの紹介と他エリアの概要が把握できた。 ・既存のガイドマップとは異なり、シーニックバイウェイに特化した形でのマップが作製できた。 ・次年度は、ルートとしてのさらなる周遊促進を目的とした情報提供の充実が必要。	
その他	★エリア全域を対象とした「環境」に対する取り組みの推進		エキノコックス駆除活動	NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会 他	平成17年度	・俱知安町では「WAOニセコ羊蹄再発見の会」(事務局・俱知安町、古谷和之理事長)など地域住民が中心となり、酪農学園大学や北海道大学等の研究者が協力する初めての体制で取り組みを展開。 ・昨年9～11月まで3回の予備調査では、町内全域を対象にキツネのふんを探取し、感染率を調査。 ・平成18年度は、本調査として5～11月まで毎月ペイトを散布し、9月にはふんを探取して駆除の効果を調べる作業を今後5年間継続していく予定。	・エリア全体の取り組みとするため、分科会を中心として他の活動団体や各自治体行政機関等との連携を強化する。

## 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(支笏洞爺ニセコルート:ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄工)	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2006/3/31
--------------------------	-------------	----------------

基本方針	平成17年度の活動内容	関係機関	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成	エリアのシンボルの羊蹄山を彩り美しく見せる	「羊蹄山麓広域景観づくり推進協議会」への参画 小樽開発建設部、倶知安道路事務所 後志支庁	年度内に検討会、懇談会、幹事会等数回ずつ	国及び道との連携機関としての参画	
	四季折々の表情を見せる田園景観を保全する	「ニセコ羊蹄エリア 景観調査会」への参画 小樽開発建設部 後志支庁	2005/6/16		
	尻別川などの自然豊かな水辺の景観をつくる	ビューポイントパーキングの整備と保全・活用(京極町 更進地区) 小樽開発建設部 倶知安道路事務所	通年		
地域づくり	歴史や文化資源も含めた地域資源の発掘と活用	「しりべしネットシステム」をより多くの方に知ってもらうため、また地域活動の活性化をはかることを目的に、小樽雪あかりの路の期間中に『後志魅力展』を開催。 主催:後志観光連盟しりべしシステム事業運営部会 後援:小樽開発建設部・後志支庁・小樽市	2006/2/18,19		
	地域コミュニティを大切にした地域づくりの推進	赤井川道路現場視察・意見交換会の開催(WAOニセコ羊蹄再発見の会との共催) 後援:小樽開発建設部 倶知安道路事務所	2005/7/8		
		講演会「谷村志穂と語るニセコ地域の魅力とシニックバイウェイ」の後援。北海道開発局によるシニックバイウェイの紹介。 後援:北海道開発局、小樽開発建設部	2005/11/25		
	地域の人材の育成と活用	全道のシニックバイウェイの情報発信拠点としての「シニックバイウェイプラザin中山峠(喜茂別町)」の整備と管理・運営。 小樽開発建設部 喜茂別町	2005/7/23オープン		
観光振興	農産物など地場産品を活用した魅力づくり	後志の全市町村が旬を満喫して皆さまを歓迎する連携の秋をテーマに、しりべし「秋の味覚めぐり」を開催。 小樽開発建設部・後志支庁・小樽市・後志町村会・北海道新聞社ほか	2006/3/18		
	エリアのきめ細かな情報の発信	しりべしネットと連携したシニックバイウェイの相互情報提供。 小樽開発建設部 後志観光連盟	通年		
	地域とのふれあいを大切にした観光の推進	地域自らが魅力を高め、吸引力のある観光空間として連携・発展することを目指し、「白い大地から、いきいき後志の発信 産消協働とシニックバイウェイ北海道のさらなる可能性」をテーマとし、北海道開発局、北海道と連携して「いきいきしりべし・シンポジウム」を開催。 共催:北海道開発局、北海道、小樽開発建設部	2006/3/18		

## 3. 地域及び行政の運営に関する報告

・支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

	基本方針	具体的活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に 関わる事項	景観形成の推進	エリアでの花植え、植栽	企画・検討	最終調整	花植え活動(6月集中活動月間)										
		シニックデッキの設置	企画・検討	最終調整	デッキ設置(6月集中活動月間)	企画・検討	最終調整	デッキ設置(9月集中活動月間)							
	地域づくりの推進	タウンミーティングの開催			景観調査会(6/16)	赤井川道路現場視察・意見交換会(7/8)									3D地図勉強会(3/1)
		キャンドルナイトの実施							企画・立案		最中調整	●1月28日実施	●2月4日実施		
	観光の推進	シニックバスツアーマキ太郎の運行	企画・検討	最終調整	まき太郎運行(6月集中活動月間)	企画・検討	最終調整	まき太郎運行(9月集中活動月間)							
		外国人観光客モニターツアーナの実施							企画・立案	最中調整	ルート検討会(1/23)	2/15(支笏)2/22(洞爺)2コース実施			
	エリア運営	エリア代表者会議開催		●5月18日開催			●8月10日開催			●12月15日開催		●2月7日開催	●3月1日開催		
		各種分科会の開催(景観、情報、地域づくり、観光)				分科会幹事会議(7/27)				情報分科会(11/2,24)	情報分科会(12/26)		各種分科会(2/24)		

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:小樽開発建設部	報告年月:2006/3/31
----------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に 関わる事項	行政連絡会議の実施						羊蹄山麓広域景観づくり検討会(8/24)		羊蹄山麓広域景観づくり検討会(10/7)		羊蹄山麓広域景観づくり検討会(12/9,16,22)		羊蹄山麓広域景観づくり協議会	●事前ヒアリング実施(2/24)
	集中活動月間				6月集中活動月			9月集中活動月				2月集中活動月		

4. 審査委員会意見に関する報告

- 支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)

ルート名称:支笏洞爺ニセコルート(ニセコ羊蹄エリア)	報告者:支笏洞爺ニセコルート ニセコ羊蹄エリア代表 古谷和之	報告年月:2006/3/31
----------------------------	--------------------------------	----------------

		支笏洞爺ニセコルート運営代表者会議の報告	支笏洞爺ニセコルート行政連絡会議の報告	備考
シーニック バイウェイ ルート全体 に対する意 見	景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	景観意識の向上やコミュニティビジネスの創出等をふまえ、シーニックデッキに関する取り組み方針の再検討を行うこととなった。冬季の「キャンドルナイト」によるコミュニティビジネスの創出等に向けた取り組みが動き始めた。		
	持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	講演会の開催により、ニセコ羊蹄エリアの魅力と今後の可能性等についてご提言頂いた。 ・平成17年11月25日 作家 谷村志穂氏 (テーマ:谷村志穂と語るニセコ地域の魅力とシーニックバイウェイ) ・平成18年3月18日 白鷗大学教授 福岡政行氏 (テーマ:シーニックバイウェイによる地域活性化)		
	地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	・札幌圏を含めたニセコ近隣市町村の集客確保に向けた、日本人向けの観光メニューの充実。 ・外国人観光客を対象とした誘致活動、受け入れ態勢の強化を図った。		
	ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	大学教授等のエリアアドバイザー制度等の検討、学生等によるエリアサポート制度等の検討について取り組むことが代表者会議にて決まった。		
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	エリア内の団体による外国語対応のパンフレット発行やホームページの管理がされている。 また、既存のニセコ羊蹄エリアホームページの更新等が次年度の検討テーマとしてあげられた。		
	開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	「らんこしWAO」が来年度新規団体として参入する。今後もエリアとして新規参入への誘導等を積極的に展開する。		
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史・文化・レクリエーションなど幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	ニセコ羊蹄エリアにおける「宝探しの旅」等が活動団体から提案され、地域資源の再発掘、語り部の育成等が今後の取り組みとしてあげられた。		
支笏洞爺ニ セコルート	今後、3エリアがひとつのテーマでつながり、ブランド化されるため、一層連携した取り組みが必要であるとともに、十分な体制と支援が必要である。	「ドライスマップ」や「キャンドルナイト」、「外国人観光客モニターツアー」の実施など、他の2エリアとの連携活動を実施した。		
	地域住民、旅行客が共有できるようなテーマ、ルート名(愛称含む)等の工夫が引き続き必要	エリア代表者会議にて、次年度以降「支笏洞爺ニセコルートとしてのCI計画(統一看板、ビューポイント等)」について検討することとなった。		
	ウェルカム北海道エリアについて、市街地部の景観改善が本ルートの重要な役割を担うことから、景観意識の向上等に継続的に取り組んでいく必要である。	—		
	「食」文化について一層の取り組みを期待したい。	スローフードフェスタの一環として、ニセコ町にて地産地消をテーマとした三國シェフによるディナーショーの開催と小学生を対象とした味覚授業を実施。		

## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-1

### 『クリーン作戦』

【内 容】商工会青年部の日にあわせて、神仙沼周辺パノラマラインの清掃活動を実施。  
【主 催】共和町商工会青年部  
【実施日】6月10日(金)  
【参加者】13名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-2

### 『綺羅街道沿道植栽』住民参加型

【内 容】町民が手を携え、一致協力して取り組む地域コミュニティー事業である「ニセコ花フェスタ」の景観改善事業として、道々岩内洞爺線ニセコ市街地域、通称名「綺羅街道」で沿道植栽を実施。  
【主 催】ニセコ21世紀まちづくり実行委員会  
【実施日】6月5日(日)、6月19日(日)  
【参加者】135名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-3

### 『フラワーロードユリ植え』

【内 容】道道岩内洞爺線に4万のユリの球根を植え、開花予想クイズを実施。開花時に再び訪れるよう案内する、当選者に特産物送る等、リピーター増加や村のPRを行う。  
【主 催】村づくり研究会  
【実施日】6月11日(土)午後1時30分  
【参加者】70名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-4

### 『公共物看板色塗り替え』

【内 容】経年変化により、汚れや色あせが目立つ公共看板などの塗り替えを住民が主体となって行う。  
【主 催】京極町景観を考える会  
【実施日】5月13日(金)  
【参加者】約10名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-5

### 『尻別川周辺掃除』

【内 容】 京極町駐車帯(羊蹄山の見えるピューポイント)が整備され、停車する車が確実に増加している中、少しでも良い景観を提供したいとの思いから、地境住民が生体となって尻別川周辺の草刈りやゴミ拾いなどの清掃活動を実施。  
 【主 催】 京極町景観を考える会  
 【実施日】 4月30日(土)、5月14日(土)、6月17日(金)、7月1日(金)、18日(金)、20日(水)  
 【参加者】 毎回10名程度参加



【5月14日の様子】

【7月20日の様子】



広報「きょうごく」6月号にて、町長から感謝の言葉を頂きました。

## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-7

### 『ニセコスケッチ教室』

【内 容】 牧歌的な風景が広がる有島記念公園。専門家の指導でスケッチを。当日受付可。参加費500円(スケッチブック付き)  
 【主 催】 ニセコ広域観光委員会  
 【実施日】 6月26日(土) 10時から12時  
 【参加者】 15名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-6

### 『尻別川せせらぎまつり』

【内 容】 川に親しみを持ってもらうことを目的として、尻別川河畔公園にて「遊ぶ」、「学ぶ」をテーマとして、川の楽校やカヌー・イカダ体験などを通じ、子どもが楽しみながら川に触れるこことできる様々なイベントを実施。  
 【主 催】 NPO法人 しりべつリバーネット  
 【実施日】 7月31日(日)  
 【来場者】 約2,000名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-8

### 『シニックコンサート』 「マルカード・アコーディオンコンサート」・「ジャズ・ボーカルコンサート」

【内 容】 静かな春の蘭越で音楽に耳を傾けるシニックコンサート商工会  
 青年部の日にあわせて、神仙沼周辺パノラマラインの清掃  
 【主 催】 らんこしWAO  
 【実施日】 6月11日(土)、7月2日(土) 19時  
 【参加者】 30名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-9

### 『綺羅馬車』の運行

**【内 容】** 今年から、ニセコの景観に優れた街の中を、のんびりとゆっくりと走る「綺羅馬車（kirabasha）」の運行を開始。ニセコ町運動公園～綺羅街道～役場前を通って1周約3km。乗客と歩行者が自然と声を掛け合う雰囲気で「のんびり」を市街地を味わうことができる。

**【運 営】** （株）ニセコリゾート観光協会

**【運行期間】** 10月末まで運行

**【運行時間】** 1便：10:00、2便：13:00、3便：15:00（所要時間：約50分）

**【乗車人数】** 大人8名（子供であれば12名可能）

**【料 金】** 大人1,600円、子供1,000円、親子ペア2,200円（大人と子供1名ずつ）貸し切り可能（1便：10,000円：要事前予約）



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-10

### 『ニセコ山系ヘリツアー』

**【内 容】** ヘリコプターに乗り、空から見るニセコ山系の豊かな自然景観を楽しむ空中散歩。  
普段目にすることのない上空から羊蹄山やニセコの山並みを見ることで、新たな視点としての景観資源の発掘につなげます。

**【料 金】** 一人：6,000円（フライト前のルート案内、保険、消費税含む） 1フライト：約10分

**【主 催】** NPO法人 WAOニセコ羊蹄再発見の会

**【運行日】** 9/11（日） 10:00～12:00

**【参加者】** 40名

**【効果と課題】** 羊蹄山やニセコ山系を上空から見ることが出来るので、乗車した方は皆さん大変喜んで頂けた。また、新たな景観の視点の発掘にもつながった。  
料金と飛行時間・飛行高度は全て関連してくるので、ビジネスとして定着させるためには、利用者ニーズとサービス提供者の間のバランスを保つことが大切。



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

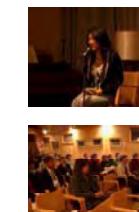
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-11

### 谷村志穂と語るニセコ地域の魅力とシニックバイウェイ

**【内 容】** ニセコ羊蹄地区に良く訪れる谷村志保さんをお招きして、私たちが普段きづかない地域の魅力について語ってもらう。また国道をよく利用して、こちらの地域や函館方面にも足を伸ばすこともあり、シニックバイウェイを含めた景観や国道のあり方について、提言してもらおう。

**【入場料】** 1,000円  
**【主 催】** NPO法人 WAO 、らんこしWAO  
**【実施日】** 11月25日  
**【来場者】** 約50名  
**【効果と課題】**



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-12

### 『一般国道393号赤井川道路 見学会』

**【内 容】** 一般国道393号赤井川道路の現在の工事状況を見学し、今後の工事予定等について、道路事務所より説明をして頂く。見学終了後、蘭越で花を使った景観美化運動を進める園芸農家を講師にお招きし、景観を美しくする秘訣について講演頂き、その後、意見交換を行った。

**【主 催】** NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会  
**【実施日】** 7月8日(金)  
**【参加者】** 約70名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-13

### 『三園シェフ味覚授業』

【内 容】 2005「スローフードフェスタinニセコ」の一環として、北海道スローフード協会支部会員である三園清ミシェフをお招きし、小学生高学年を対象としてニセコの食材を活用した食育事業を開催。

【主 催】 ニセコリゾート観光協会

【実施日】 9/25

【参加者】 小学生20名

【効 果】 ・ニセコい、室田小、近藤小から合計20名の小学校高学年の生徒が参加。  
・子供達はもとより、その親御さんやお手伝いスタッフとして関わった女性団体の方々も大変貴重な体験として喜んで頂いた。



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-15

### きもべつ『秋の味覚祭り』

【内 容】 ・地元喜茂別の採れたて「無農薬野菜」を販売。  
・喜茂別特産じゃがいも、かぼちゃ、スイートポテト等100円で詰め放題。  
・また、これらの野菜を使った料理の無料試食会も実施  
【主 催】 きもべつWAO

【実施日】 9/18：道の駅望羊中山、9/24：喜茂別町民公園

【来場者】 約350名

【効果と課題】 ・地元食材をPRし、多くの方々に知って味わって頂く取り組みとして9月中旬に2回開催。  
・18日は、あいにくの雨だったが用意した農産物は完売となり、24日(土)は、350人位の人が訪れて多くの賑わいを見せた。  
・今回は開催場所を「道の駅望羊中山駐車場」と「町民公園駐車場」で開催したが、それらの成果を再度検証し、より効果のある取り組みとして継続していくような仕組み作りが必要。



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-14

### 『アスパラ祭り』

【内 容】 喜茂別特産の朝もぎアスパラで春の味覚を味わう。グリーンとホワイトを提供。アスパラに関するレシピも参加者から募集。

【主 催】 きもべつWAO

【実施日】 6月25日(土) 9時から16時

【参加者】 約200名



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-16

### 『真狩ファーマーズマーケット』

【内 容】 地元農家と連携し取れたて新鮮な野菜を生産者直売で開催。真狩村特産のかぼちゃ、トマト、じゃがいも、赤大根をはじめ、じゃがいもの地方発送も実施。  
次年度以降のコミュニティビジネス展開に向け今年度は試験的に開催。

【主 催】 真狩村づくり研究会

【実施日】 9/23～10/10まで毎日 10:00～15:00

【来場者】 300名(ターニックカフェ含む)

【効果と課題】 ・農家の方が生体となって販売メニューや料理レシピを提案する等、農家の方にとっても新しいビジネスのきっかけになった。  
・準備期間や広告期間が短かったため、訪れる人は、週末で50人程度と少なかった。  
・ユリの満開時期に合わせて開催する等、開催時期について再検討する必要がある。



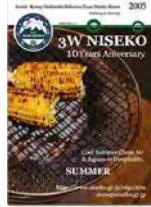
**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

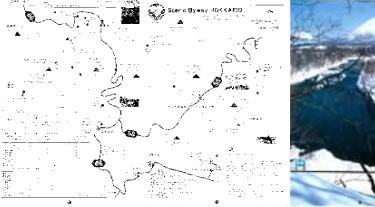
SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ニセコ ガイドブック発行』

【内 容】「ニセコガイド」が今年で10年を迎えたことを記念して発刊。今回は、初夏のイベント情報やニセコ羊蹄エリアのシニックバイウェイを写真やマップと共に紹介。タイトルは「ニセコガイド10周年記念誌「夏号」」、サブテーマを「Scenic Byway Hokkaido Shikotsu-Toya-Niseko Route ~Walking or Driving?~」し、ニセコ観光国際の会のホームページ上でもウェブブックとして公開中。

【主 催】ニセコ観光国際の会







SN-17

**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シニックなバスの旅 “ぐるっと羊蹄一周バスツアー”』

【内 容】昨年秋と今年6月に実施し、毎回大好評をいただいている、レトロバスでニセコ羊蹄エリアのオススメポイント回るバスツアー。

【主 催】ニセコリート観光協会

【運行日】9/17.18.19.23.24.25（1日2便）

【参加者】150名

【効果と課題】・前回の6月は事前に折り込みチラシを入れていたが、今回は敢えて入れず、新聞とHPでの告知とした。  
・その結果、今回は札幌や道外からの問い合わせや予約が多かった。  
・予約形態もこれまでの直接申し込みからネットや電話での申し込みが多くなった。  
・観光ガイドの資質や施設を拡大するため、今回からガイドを交代制にしつこくの方に経験を積んで頂けた。





SN-18

**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『シニックなバスの旅 “ぐるっと羊蹄一周バスツアー”』

【内 容】レトロバスで5つの町村の国道・道道・町村道を通って、ニセコ羊蹄エリアのオススメポイントを回るバスツアー。乗客へアンケートを実施し、今後の広域ビジネスの可能性を検証。

【主 催】（株）ニセコリート観光協会

【実施日】6月11日(土)、12日(日)、17日(土)、18日(日)午前9時30分、午後2時30分(2回運行)

【参加者】165名







SN-18

**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『ニセコ羊蹄周遊“シニックバス”』

【内 容】JRや路線バスとの接続や宿泊施設、地域資源とも連携した期間限定のニセコ羊蹄周遊「シニックバス」の運行。

【料 金】大人：2,000円、子供：1,000円、60歳以上：1,000円。期間中乗り降り自由。

【主 催】ニセコリート観光協会

【運行日】8/13～10/10までの土日祝 1日4便

【効果と課題】・利用者の方からは、路線バス（町内の足）として今後も利用したいとの声があった。  
・周知期間が短かったことや告知方法が徹底していなかったため、町民や観光客にシニックバスが浸透しなかった。





SN-19

## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『シニックテラス in くっちゃん駅前』

SN-20

【内 容】 駅前にある商店街の小さなポケットパーク。  
6月集中活動月間中は、インターネットも使える情報センターとして機能。  
【設置期間】 6~10月末  
【場 所】 倶知安町北1条西1丁目  
【主 催】 NPO法人 WAO ニセコ羊蹄再発見の会



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『公園カフェ「イーグル』』

SN-22

【内 容】 期間中、羊蹄山やニセコ連山等を眺められる2階のテッキでの喫茶。  
【営業時間】 9:30~16:00  
【営業日】 7~10月は毎日営業  
【場 所】 ニセコ町運動公園内  
【主 催】 (株)ニセコリゾート観光協会



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『シニックカフェ「曾我の散歩道」』

SN-21

【内 容】 期間中、シニックテッキで喫茶店を開業。  
【営業期間】 6~10月末  
【場 所】 ニセコ町曾我「アイ・ニセコ」  
【主 催】 ニセコ観光国際の会



## 支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

### 『シニックカフェくっちゃんin北四線』

SN-23

【内 容】 昨年に引き続き、北4線でのシニックテッキの設置。  
今年度は、保健所の許可関係上、カフェに関しては1週間の期間限定営業となった。  
【主 催】 NPO法人 WAO羊蹄再発見の会  
【実施日】 【テッキ設置】9/3~10/10 【カフェ営業】9/17~19, 9/23~25  
【来場者】 約250名  
【効果と課題】 ・昨年度のリビーターも多く来られ、「去年来てからずっと楽しみにしていた」との声を  
いただきニーズはあると改めて実感。  
・今年は、民間タクシー会社が観光タクシーをして来てくれた。  
・カフェのニーズが高いことが分かったので、中長期的な採算ベースに乗せる仕組みづく  
りが必要(ファームインレストレス等)。



**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-24

『真狩シーニックカフェ』

**【内 容】** 羊蹄山を一望することのできる真狩村宇光(道岩内洞爺線)フラワーパーキング横特設会場にて、ファーマーズマーケットに併設した「シーニックカフェ」を開店。  
次年度以降のコミュニティビジネス展開に向け今年度は試験的に開催。

**【主 催】** 真狩村づくり研究会  
**【実施日】** 10/4~10/10まで毎日 10:00~15:00  
**【来場者】** 300名(シーニックカフェ含む)  
**【効果と課題】** ファーマーズマーケット同様、ユリの満開時期に合わせて開催する等、開催時期について再検討する必要がある。  
保健所の申請関係でカフェの営業が1週間となってしまったが、今後は集中活動月間期間中の継続的営業も見据えた営業戦略の検討が必要。



**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-26

『外国人観光客モニターツアー』

**【目的】** ①ニセコ地域を訪れる外国人旅行者（主に豪人旅行者）の周遊・レクリエーション活動に対するニーズ把握  
②広域周遊環境改善による支笏洞爺ニセコルート全体の魅力度向上、集客力の増加  
③連携事業によるエリア間の連携強化

**【実施日】** 支笏湖コース 2月15日(水) 洞爺湖コース 2月22日(火)  
**【実施主体】** 支笏洞爺ニセコルート代表者連絡会議（ニセコ羊蹄エリア情報分科会）  
**【調査協力】** (社)北海道開発技術センター



**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-25

キャンドルナイト — 灯りで繋ぐ雪の道 —

**【内 容】** シーニックハイウェイ「支笏・洞爺・ニセコルート」をキャンドルの灯りで結ぼうと各エリアが連携。キャンドル約20,000本の協賛があり、支笏は雪あかりの散歩道を洞爺は温泉街を灯りで彩り、ニセコでは、ホテルやスキー場をはじめ、喜茂別町や積知安町、蘭越町のまちなか、中山峠など道の駅へも広がり、当初予定されていた場所以外の自発的な参加者や、配布キャンドル以外のカラーキャンドル、雪のオブジェなど、それぞれが想い想いに雪と灯りを楽しむ2日間となった。

**【実施日】** 1月28日(土)、2月4日(土)  
**【主 催】** NPO法人WAOニセコ跨年発見会、京極町観景を語る会、NPO法人洞爺にぎわいネットワーク  
**【共 催】** NPO法人支笏湖まちづくり機構Neoステージ、真狩村づくり研究会、ニセコ観光国際の会、ニセコ広域観光委員会、NPO法人しりべつリバーネット、きもべつWAO、株ニセコリゾート観光協会、蘭越WAO



**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

SN-26

『外国人観光客モニターツアー』支笏湖コース

**【参加者】** オーストラリア人：8名、ロシア人：2名、香港人：2名 合計12名

**【スケジュール】**

- ①12:00 二世谷出発
- ②13:00 道の駅「フォレスト276」
- ③14:30 支笏湖ビジターセンター
- ④15:30 丸駒温泉
- ⑤16:40 支笏湖お湯まつり
- ⑥17:40 休暇村支笏湖

(温泉入浴、食事、アンケート記入)

**【参加者の声】** ヒアリングシートより
 

- ・すごい体験をした。次回はもっとゆっくり過ごしたい。
- ・湖と背景の山並みなどの自然に究極の美を感じた。
- ・現地のスタッフが親切で演出・対応もすばらしかった。
- ・温泉の景観・サービスは、ファーストクラスだった。
- ・今まで食べた中で最高の日本料理だった。
- ・温泉でのマナー等を英語で解説してほしい。
- ・英語標記、パンフレット、解説の充実を望む。



**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

『外国人観光客モニターツアー』洞爺湖コース

SN-26

【参加者】オーストラリア人：18名、香港人：2名 合計20名

【スケジュール】

- ①12:00 ニセコ出発
- ②12:30 真狩スノーモービルランド
- ③13:30 道の駅「230ルツツ」
- ④14:30 昭和新山（雪合戦体験）
- ⑤16:00 洞爺湖一周遊覧船
- ⑥17:00 虻田町立火山科学館
- ⑦18:00 旭ホテル（温泉入浴・食事・アンケート記入）

【参加者の声】（アーリングシートより）

- ・現地スタッフの方々の対応がとても良かった。
- ・他のツアーメンバーとの交流ができて良かった。
- ・スノーモービル、雪合戦はとても興奮した！
- ・温泉、浴衣、食事、畳など日本文化を体験できた。
- ・女将さんの真心のホスピタリティが嬉しかった。
- ・英語インフォメーション、解説の充実を望む。
- ・土産品の選択肢が少なかった。充実を望む。

**支笏洞爺ニセコルート《ニセコ羊蹄エリア》**

SHIKOTSU-TOYA-NISEKO PARK ROUTE

シニックバイウェイ北海道 支笏洞爺ニセコルートを巡る  
『見て・食べて・遊ぶドライブマップ～秋号～』

SN-27

【内 容】9月集中活動月間にあわせ、支笏洞爺ニセコルート内のおすすめ景観ポイント・イベント・ドライブコースを掲載したドライブマップを作成。情報拠点や道の駅等で配布するとともに、ドライブマップを使った「地域再発見クイズラリー」（10月3日～11月7日）を実施。

【配布部数】7000部 / 【配布場所】情報拠点や道の駅、オートキャンプ場等

【クイズラリー参加者】 70名（10月末日現在）

■ドライブマップ（地域のサービスクーポン付き）

■地域再発見クイズラリー